

各種アンケート調査結果等のとりまとめ



各種アンケート等を踏まえた県庁舎の現状・課題 ～ 来庁者の視点、県職員の見点

- 県庁舎の現状と課題について把握するため、県政サービス利用者である「来庁者」および県政サービス提供者である「県職員」を対象に、アンケート調査(県政モニターアンケート、Webアンケート、職員アンケート)およびグループインタビュー(ワークショップ形式)を実施した。

有識者・県民等+来庁者意見の把握方法

レベル・手法	対象	目的・特徴
第1層(深化) 懇話会	有識者・県民等	産学労言の幅広い分野の委員から意見聴取を実施
第2層(熟考) 県政モニター	応募者モニター 259名	懇話会での議論等を踏まえ、アンケートや意見聴取(モニタートーク)を実施
第3層(拡張) Webアンケート	広く県内在住者 2,000名	懇話会や県政モニターの見解等との比較検証を目的としたアンケート



県政モニターアンケートとWebアンケートでの回答傾向の差異

- 県政モニターアンケート結果に対して、Webアンケート結果の方が比較的、来訪頻度(日常からの県庁との関与度合い)、関心度・認知度合いが低い。(本館歴史性等に関する認知等)
- Webアンケート回答者の約6割が自動車での来訪傾向(県政モニターでは約3割)
- 上記のような回答傾向の差異は見られるものの、「本庁舎の不満や不便」、「これからの滋賀県庁舎に期待すること」での回答傾向は同様な回答結果となった。

県職員意見の把握方法

レベル・手法	対象	目的・特徴
第2層(熟考) 庁内ワーキング	県職員公募 (13名)	働き手目線での現状と課題、将来の県庁舎に求める姿等をワークショップ形式で意見聴取
第3層(拡張) 職員アンケート	県職員 約5,200名	懇話会や県政モニターの見解等を踏まえ、職員視点の意見を把握



来庁者意見と県職員意見回答傾向の差異

- 「本庁舎の不満や不便」、「これからの滋賀県庁舎に期待すること」での回答傾向や、自由回答におけるコメント内容は、概ね同一の回答傾向となった。詳細な意見分類を行うと、職員ならではの「職場環境」としての不満や不便に対する意見が多数見られた。
- 「これからの滋賀県庁舎に期待すること」では、「スペース・設備が充実した働きたくなる庁舎」への期待意見が多数見られた。(詳細は次頁参照)

来庁者の主な意見

好意的な意見
(来庁者・県職員共通)

県職員の主な意見

※赤字: 来庁者意見との差異

立地

駅からの動線、県庁舎内への入り口・経路が分かりにくい。

駅が近く便利

駅からの動線、県庁舎内への入り口・経路が分かりにくい。

立地

老朽度

庁舎内の暗さ、施設の老朽化

琵琶湖・比叡山の遠景景観等に恵まれた立地

庁舎内の暗さ、施設の老朽化
(設備故障頻度高、通信環境が悪い、後付け配線／等)

老朽度

安全性

地震等に備えた設備等の補強・改修の必要性

安全対策を前提に本館全館保存

トイレ環境改善(老朽(清潔度難)、臭気、洋式少、寒さ対策未対応等)

安全性

誰でも入れてしまうため情報管理、セキュリティ上課題あり。

これからの滋賀県庁舎に期待すること

地震等に備えた設備等の補強・改修の必要性

狭小度

駐車場が少ない。狭く利用しづらい

誰もが訪れやすく、使いやすい

情報管理、セキュリティ上課題あり。

狭小度

来庁者の居場所が限定的(開かれた雰囲気・憩いの空間・憩いの場が少ない)

滋賀県のシンボル

安心安全な暮らしを守る

滋賀県・びわ湖の魅力をPR

職員用の駐車場も少ない。

動線・バリアフリー等

動線・バリアフリー等

目的の部署・会議室等が分かりにくい案内表示が分かりにくい(迷路)

イメージキーワード
「落ち着いた」「日常感」「品格」「歴史的・レトロ感」「学び」「自然」「ウォーカブル」

職場環境・議会機能特化(シンプル)

手続きオンライン化対応

スペース・設備充実
働きたくなる庁舎

来庁者対応・内部会議スペース、休憩・更衣室等のスペースの不足(所属によって格差あり)

部署間の連携が取りづらい

目的の部署・会議室等が分かりにくい案内表示が分かりにくい(迷路)

各種アンケート調査結果等の分析（報告）



目次

1. 県民ニーズweb調査結果

(1)調査概要・回答者属性P7

(2)問1～問13P11

2. 職員アンケート調査結果

(1)調査概要・回答者属性P25

(2)問1～問6P27

3.懇話会委員・県政モニター・Webモニター・職員P45

の自由回答による主なご意見の一覧

県民ニーズweb調査結果

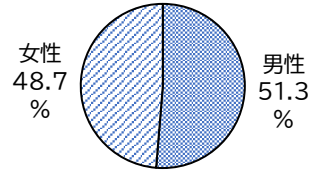


(1)調査概要・回答者属性

■調査票タイトル	滋賀県庁舎等のあり方検討についてのアンケート
■調査方法	インターネットリサーチ
■実施機関	株式会社マクロミル
■商品種別	QuickMill
■実施期間	2026年03月02日(月)～2026年03月09日(月)
■割付条件	マクロミルのモニタ会員
■回収サンプル数	2000

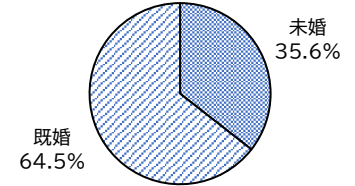
◆性別

項目	人数(人)	割合(%)
男性	1,026	51.3
女性	974	48.7
合計	2,000	100.0



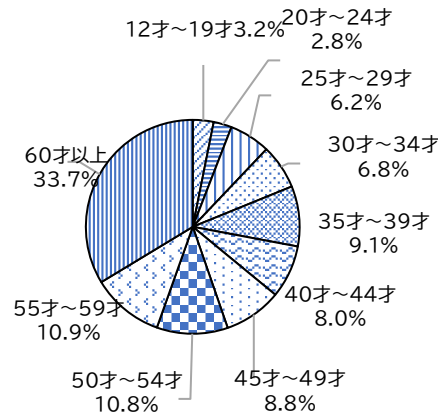
◆未既婚

項目	人数(人)	割合(%)
未婚	711	35.6
既婚	1,289	64.5
合計	2,000	100.0



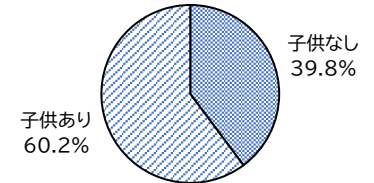
◆年代

項目	人数(人)	割合(%)
12才未満	0	0.0
12才～19才	63	3.2
20才～24才	55	2.8
25才～29才	124	6.2
30才～34才	135	6.8
35才～39才	182	9.1
40才～44才	160	8.0
45才～49才	175	8.8
50才～54才	215	10.8
55才～59才	218	10.9
60才以上	673	33.7
合計	2,000	100.0



◆子供の有無

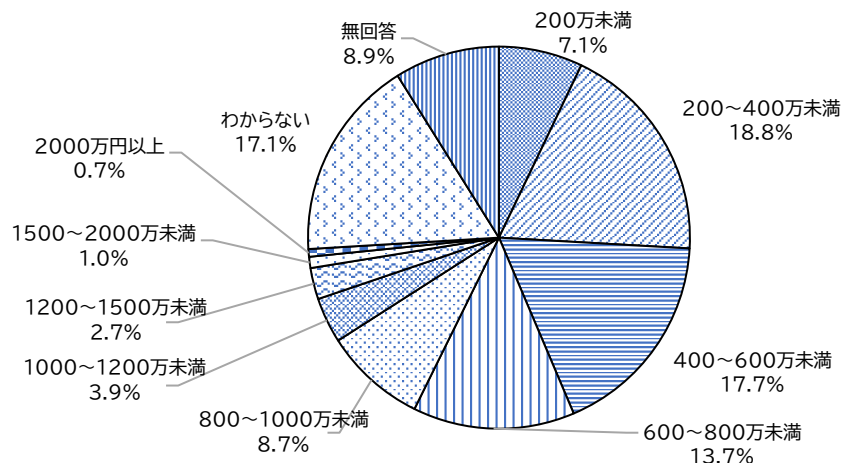
項目	人数(人)	割合(%)
子供なし	796	39.8
子供あり	1,204	60.2
合計	2,000	100.0



(1)調査概要・回答者属性

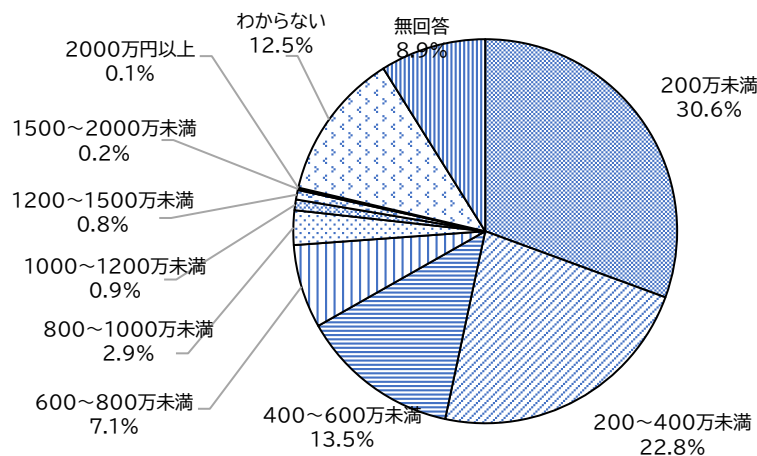
◆世帯年収

項目	人数(人)	割合(%)
200万未満	142	7.1
200～400万未満	376	18.8
400～600万未満	354	17.7
600～800万未満	274	13.7
800～1000万未満	173	8.7
1000～1200万未満	77	3.9
1200～1500万未満	53	2.7
1500～2000万未満	19	1.0
2000万円以上	13	0.7
わからない	341	17.1
無回答	178	8.9
合計	2,000	100



◆個人年収

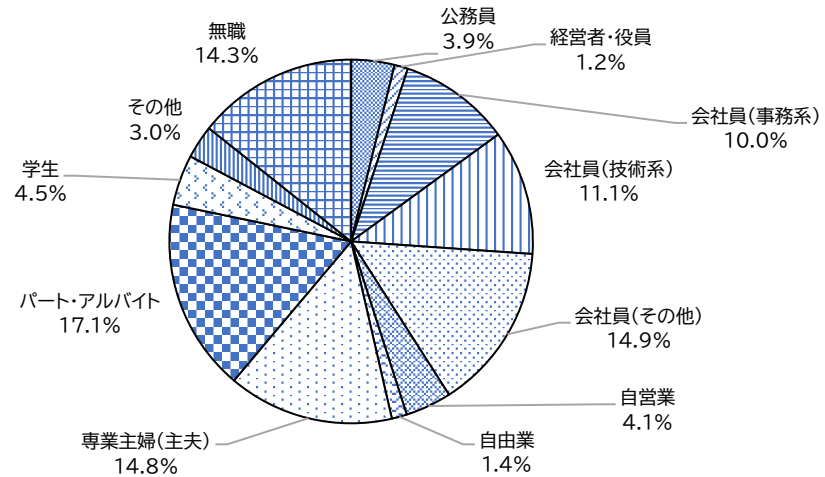
項目	人数(人)	割合(%)
200万未満	612	30.6
200～400万未満	455	22.8
400～600万未満	269	13.5
600～800万未満	141	7.1
800～1000万未満	58	2.9
1000～1200万未満	18	0.9
1200～1500万未満	16	0.8
1500～2000万未満	3	0.2
2000万円以上	1	0.1
わからない	249	12.5
無回答	178	8.9
合計	2,000	100



(1)調査概要・回答者属性

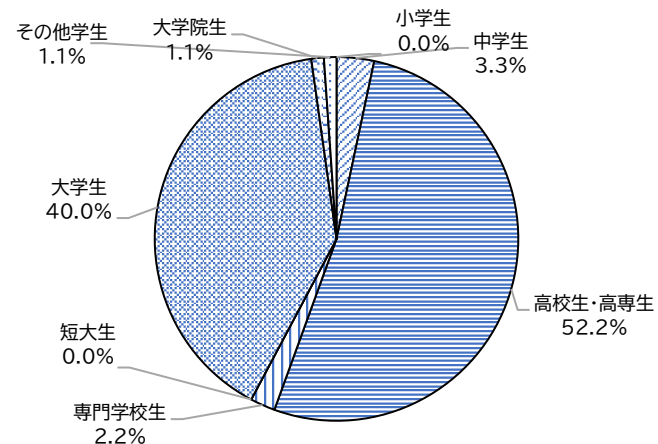
◆職業

項目	人数(人)	割合(%)
公務員	77	3.9
経営者・役員	24	1.2
会社員(事務系)	199	10.0
会社員(技術系)	222	11.1
会社員(その他)	297	14.9
自営業	82	4.1
自由業	27	1.4
専業主婦(主夫)	295	14.8
パート・アルバイト	342	17.1
学生	90	4.5
その他	59	3.0
無職	286	14.3
合計	2,000	100



◆学生種別

項目	人数(人)	割合(%)
小学生	0	0.0
中学生	3	3.3
高校生・高専生	47	52.2
専門学校生	2	2.2
短大生	0	0.0
大学生	36	40.0
大学院生	1	1.1
その他学生	1	1.1
合計	90	100



(1)調査概要・回答者属性

- 回答者の居住地域は下表の通りであり、概ね各地域の居住人口比と近似する回答者数を確保した。

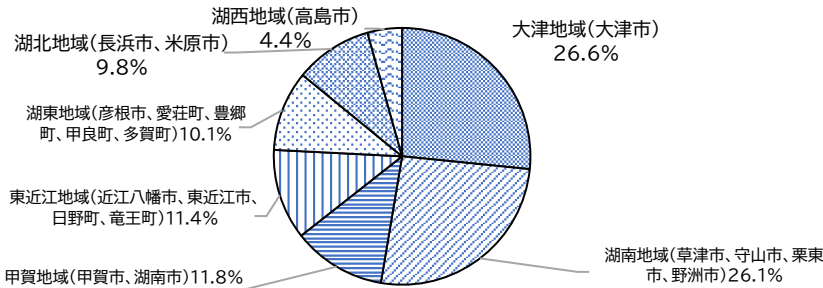
	項目	人数(人)	割合(%)	割合(%)
県南	大津地域	532	26.6	約64%
	湖南地域	521	26.1	
	甲賀地域	235	11.8	
県北	東近江地域	228	11.4	約36%
	湖東地域	202	10.1	
	湖北地域	195	9.8	
	湖西地域	87	4.4	
	合計	2,000	100.0	

県北

- 東近江地域(東近江市、近江八幡市、日野町、竜王町)
- 湖東地域(彦根市、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町)
- 湖北地域(長浜市、米原市)
- 湖西地域(高島市)

県南

- 大津地域(大津市)
- 湖南地域(草津市、守山市、栗東市、野洲市)
- 甲賀地域(甲賀市、湖南市)



参考:滋賀県の地域別人口とその比率 ※2020年国勢調査結果より作成

地域	人口(人)	構成比率	構成比率
大津	178,397	25%	約59%
湖南	173,733	24%	
甲賀	70,636	10%	
東近江	113,975	16%	約41%
湖東	78,421	11%	
湖北	77,404	11%	
湖西	23,615	3%	



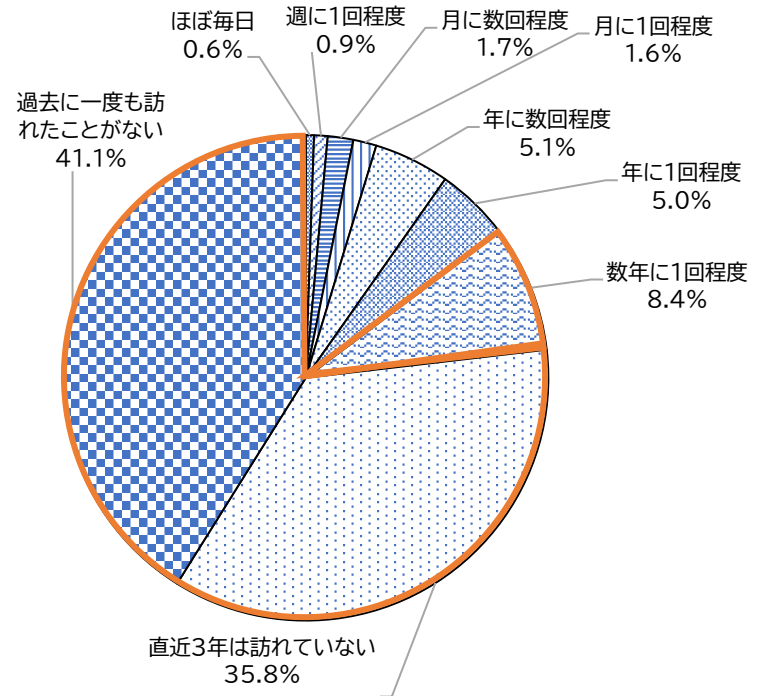
出所:県内の市町一覧 | 滋賀県ホームページ

(2)問1:来訪頻度 (直近3年・滋賀県大津市京町四丁目1番1号に所在する庁舎のみについて)

- 「直近3年は訪れていない(35.8%)」、「過去に1度も訪れたことがない(41.1%)」が全体の約7割以上を占める。
- 直近3年以内に県庁舎を訪問した人の中では「数年に1回程度」の訪問が最多となっている。

項目	人数(人)	割合(%)
ほぼ毎日	11	0.6
週に1回程度	18	0.9
月に数回程度	34	1.7
月に1回程度	31	1.6
年に数回程度	101	5.1
年に1回程度	100	5.0
数年に1回程度	168	8.4
直近3年は訪れていない	715	35.8
過去に1度も訪れたことがない	822	41.1
合計	2,000	100.0

直近3年以内に
県庁舎を訪問した
ことのある方(463名)

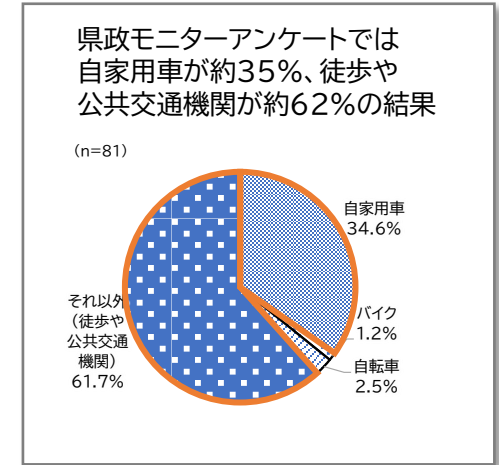
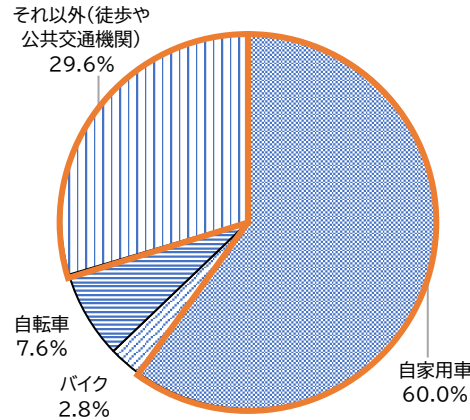


問2～8は、直近3年以内に県庁舎を訪問したことのある方(463名)の回答を抽出する。
問9～13は、県庁の来訪経験に関わらず全員に回答をいただく。

(2)問2:交通手段(最も利用頻度の高い交通手段)

- 「自家用車」が最多(60.0%)となっている。(県政モニターアンケートとは異なる傾向)
- 一方で、「自家用車それ以外(徒歩や公共交通機関)」での来庁もかなりの割合(29.6%)がみられる。

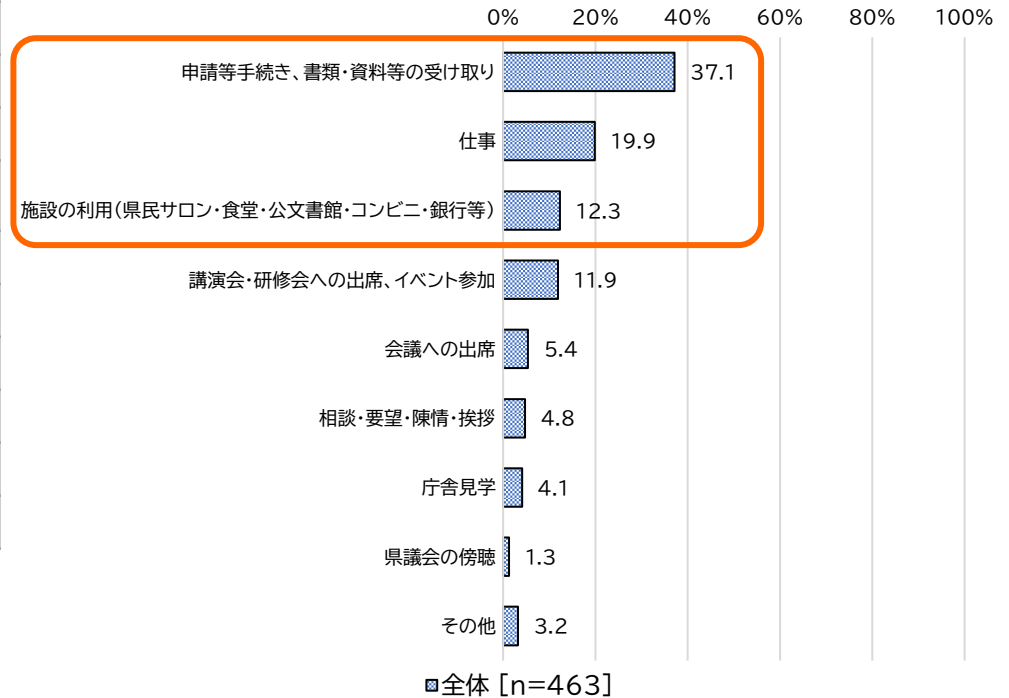
項目	人数(人)	割合(%)
自家用車	278	60.0
バイク	13	2.8
自転車	35	7.6
それ以外(徒歩や公共交通機関)	137	29.6
合計	463	100.0



(2)問3:来庁目的 (主な用件)(複数回答可)

- 「講演会・研修会への出席、イベント参加申請等手続き、書類・資料等の受け取り」が約37%で最も多い。
- 次いで「仕事」(約20%)や「施設の利用(県民サロン・食堂・公文書館・コンビニ・銀行等)」(約12%)等の目的での来訪が上位となっている。

項目	人数(人)	割合(%)
申請等手続き、書類・資料等の受け取り	172	37.1
仕事	92	19.9
施設の利用(県民サロン・食堂・公文書館・コンビニ・銀行等)	57	12.3
講演会・研修会への出席、イベント参加	55	11.9
会議への出席	25	5.4
相談・要望・陳情・挨拶	22	4.8
庁舎見学	19	4.1
県議会の傍聴	6	1.3
その他	15	3.2



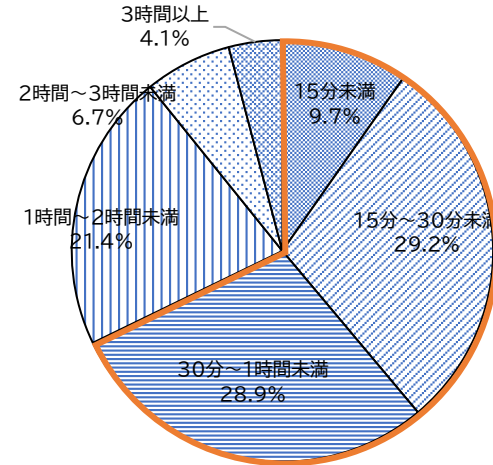
その他の主な回答

- 説明会や相談 (刀剣の鑑定、琵琶湖マラソンボランティア説明会)
- 具体的な記載なし (趣味関連等)
- 選挙
- 健康診断
- 送迎
- その他 (散歩がてら、覚えてない)

(2)問4:滋賀県庁舎を訪れた際の平均的な滞在時間

- 平均的な滞在時間は15分～30分未満が最も多く、次いで30分～1時間程度の滞在時間となっている。
- 1時間未満の滞在が全体の6割を超え、比較的短時間の滞在が多くなっている。

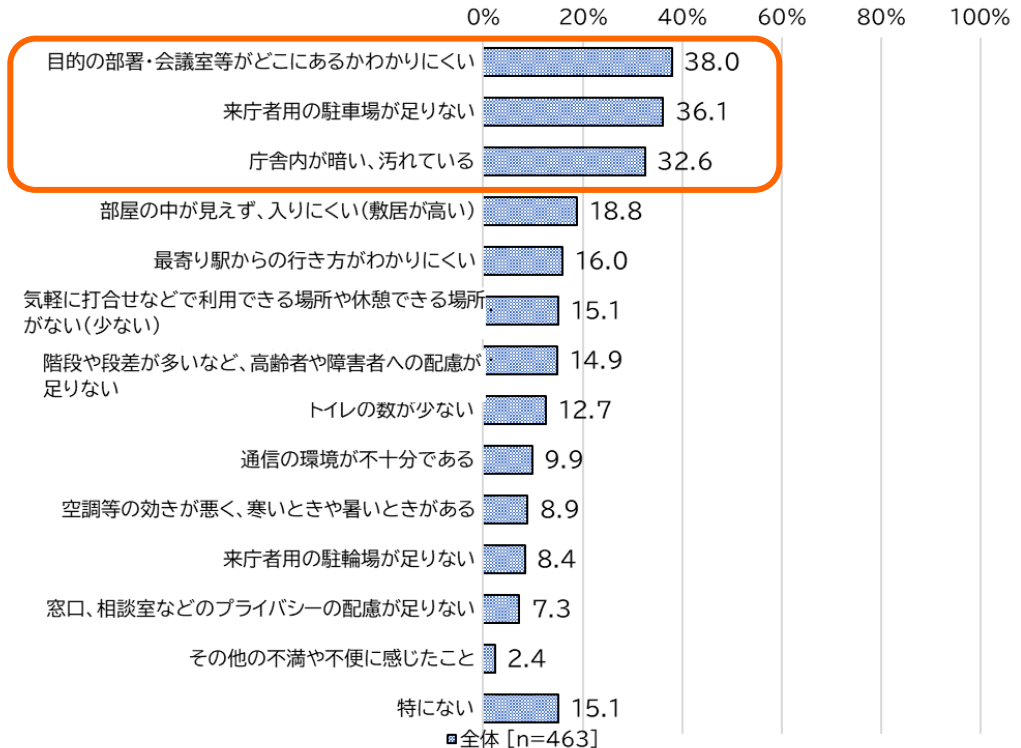
項目	人数(人)	割合(%)
15分未満	45	9.7
15分～30分未満	135	29.2
30分～1時間未満	134	28.9
1時間～2時間未満	99	21.4
2時間～3時間未満	31	6.7
3時間以上	19	4.1
合計	463	100.0



(2)問5:滋賀県庁舎を訪れた際に不満や不便に感じたこと (複数回答可)

- 「目的の部署・会議室等がどこにあるかわかりにくい」が最多で38%となっている。
- 次いで、「来庁者用の駐車場が足りない」が約36%、「庁舎内が暗い、汚れている」が約33%となっており、非常に割合が大きい。

項目	人数(人)	割合(%)
目的の部署・会議室等がどこにあるかわかりにくい	176	38.0
来庁者用の駐車場が足りない	167	36.1
庁舎内が暗い、汚れている	151	32.6
部屋の中が見えず、入りにくい(敷居が高い)	87	18.8
最寄り駅からの行き方がわかりにくい	74	16.0
気軽に打合せなどで利用できる場所や休憩できる場所がない(少ない)	70	15.1
階段や段差が多いなど、高齢者や障害者への配慮が足りない	69	14.9
トイレの数が少ない	59	12.7
通信の環境が不十分である	46	9.9
空調等の効きが悪く、寒いときや暑いときがある	41	8.9
来庁者用の駐輪場が足りない	39	8.4
窓口、相談室などのプライバシーの配慮が足りない	34	7.3
その他の不満や不便に感じたこと	11	2.4
特にない	70	15.1



その他の主な回答

- 施設の老朽化 (施設全体・エレベーターやトイレ 等)
- 配置の複雑さ、わかりにくさ (エレベーター・駐車場)
- 誰でも入れそうで不審者がきたら怖いと感じる
- 県民サロンでコーヒーが飲めない、飲食禁止になっていること
- 訪れると体調が悪くなる

(2)問6:具体的に不便に感じた内容や改善方法等(自由記述)

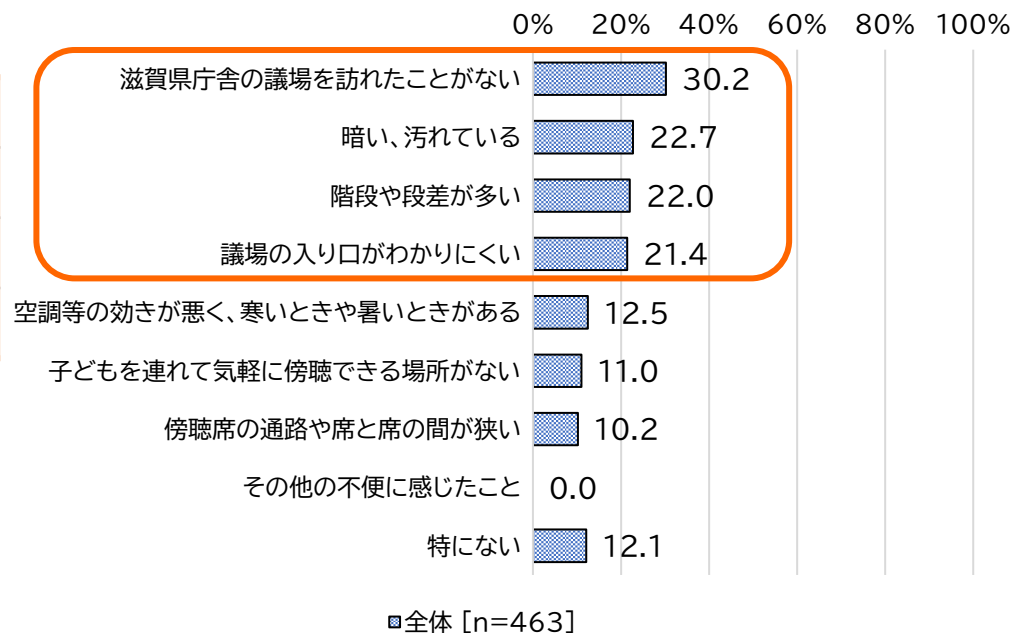
● 主なご意見は下記の通り

項目	件数	内容
施設の配置の不明瞭さ	71	<ul style="list-style-type: none"> 増築もあり廊下が入り組んでおり、初めての人は目的の部屋が分かりにくい 別館等への経路が分かり難い 総合案内がどこにあるかわかりにくい 内部が分かり難い どこから入って、どこへ行けばいいのかよく分からない
駐車場の問題	39	<ul style="list-style-type: none"> 駐車場が少ない、混んでいる、満車で停めることができず有料駐車場を利用せざるを得ない 駐車場に入りづらい 駐車場が狭い、危ない、不慣れなドライバーは駐車に時間がかかる
施設の老朽化	34	<ul style="list-style-type: none"> 庁舎が古くもう少しモダンにした方がよい 衛生面に課題がある 庁舎の老朽化が著しいので全面的に建て替える必要が有ると思う
建物の暗さ	34	<ul style="list-style-type: none"> 明るく清潔にしてほしい 各窓口はどこか声が掛けづらいイメージがあるため、明るく敷居の低い窓口や部署となるように改善が必要 食事・カフェ・洒落た店等の導入、県民サロンの改善
案内表示の不十分さ	29	<ul style="list-style-type: none"> 案内図・表示を増やしてほしい 案内表示がわかりにくい、トイレの場所が分かり難い 部署への通路の色分けが必要
アクセスの不便さ	20	<ul style="list-style-type: none"> 駅前から見えないので少し遠く感じた、最寄り駅が分かり難い 行きにくい、もっと交通の便の良いところに移転すべき 県北部から行くには遠すぎる。分庁舎を作ってほしい
トイレの清潔さ等の改善	11	<ul style="list-style-type: none"> トイレが古い、暗く、狭い、数が少ない、個室が狭い、身障者用トイレが少ない 和式の数が多すぎる、洋式トイレが少ない
バリアフリー	4	<ul style="list-style-type: none"> 入口の階段等、高齢者には不向き・施設が古くバリアフリーが不十分
その他	45	<ul style="list-style-type: none"> 待ち時間が長い 職員の思いやりを感じない・声を掛けにくい 古い建物なので 確かに暗いが、そこが良いと思う 県庁の建物を改修する前に、恐ろしく使いにくいホームページを改善した方がよい 各部署の窓口に入りづらい雰囲気がある、市役所の住民票受取窓口のような広い空間があればよい

(2)問7:議場について不便に感じたこと (複数回答可)

- 約3割が最近の来庁経験はあっても、議場を訪れた経験はないと回答し、最多となった。
- 「暗い、汚れている」が22.7%、「階段や段差が多い」が22.0%、「議場の入り口がわかりにくい」が21.4%と回答が多かった。

項目	人数(人)	割合(%)
滋賀県庁舎の議場を訪れたことがない	140	30.2
暗い、汚れている	105	22.7
階段や段差が多い	102	22.0
議場の入り口がわかりにくい	99	21.4
空調等の効きが悪く、寒いときや暑いときがある	58	12.5
子どもを連れて気軽に傍聴できる場所がない	51	11.0
傍聴席の通路や席と席の間が狭い	47	10.2
特にない	56	12.1
その他の不便に感じたこと	0	0.0



(2) 問8: 議場について具体的に不便に感じた内容や改善方法等 (自由記述)

● 主なご意見は下記の通り

項目	件数	内容
暗い、雰囲気改善	25	<ul style="list-style-type: none"> 全体的に暗く、もっと明るくしてもらいたい。 明るく誰でも立ち寄りやすい場所にする 暗く見難いイメージがある。 天井が低く暗い。地震が来たら不安。
分かりにくい	22	<ul style="list-style-type: none"> 何処にあるかが分かりづらい 出入口が分かりにくい
設備(老朽化等)	14	<ul style="list-style-type: none"> 古い、狭いところが多い。設備の老朽化を感じる。
案内表示の不足	12	<ul style="list-style-type: none"> エントランスの不便さと案内経路が不明確(分かり難い) 案内表示が分かりにくい、少ない 行先誘導マークを設置してほしい
清潔さ	12	<ul style="list-style-type: none"> 明るく清潔にして欲しい トイレが汚い
バリアフリー	10	<ul style="list-style-type: none"> 段差が多い、バリアフリーの徹底 ユニバーサルなつくりになるとよい
アクセスの難しさ	3	<ul style="list-style-type: none"> 最寄駅から遠い 交通渋滞がある
わからない	11	<ul style="list-style-type: none"> 利用したことがない、行く機会がなくわからない
その他	41	<ul style="list-style-type: none"> 駐車場からの距離が遠い スロープにする 入りにくい雰囲気がある、敷居が高い。 静かにしないといけない雰囲気があり、緊張する。気軽には行けない。 今のままの雰囲気を残してバリアフリーにできないか 新しい施設にしてほしい 対応を親切にしてほしい 寒い 待合のスペースが快適でない 座りやすい椅子を用意してほしい

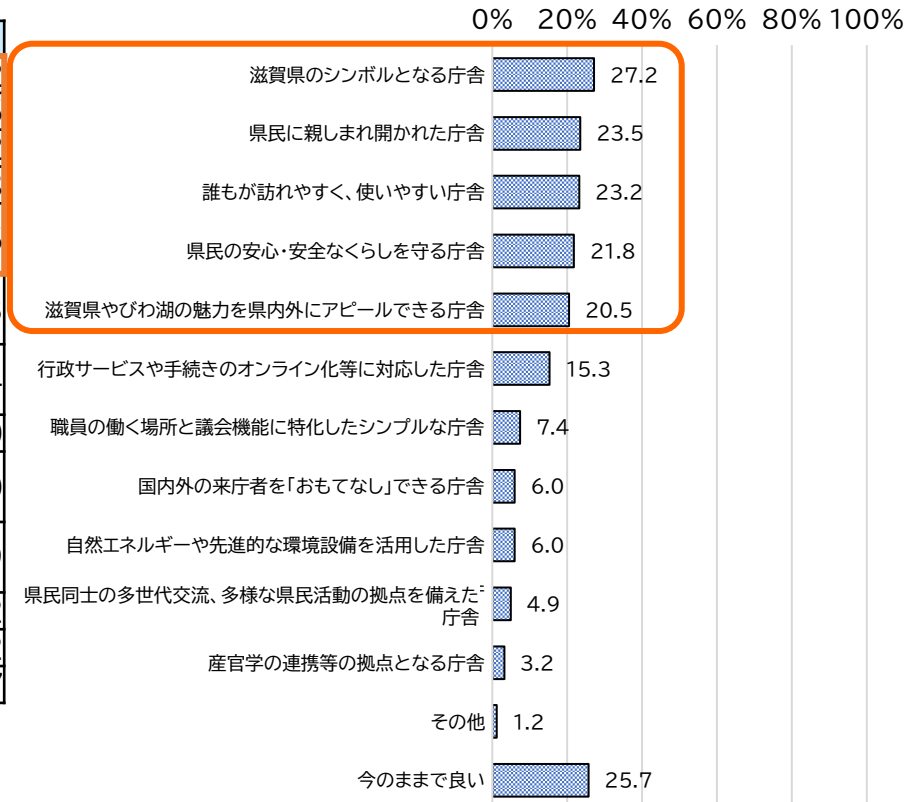
(2)問9:これからの滋賀県庁舎に期待すること(3つまで)

- 「滋賀県のシンボルとなる庁舎」が最も多く、27.2%となっている。
- 続いて、「今のままで良い」が25.7%、「県民に親しまれ開かれた庁舎」が23.5%、「誰もが訪れやすく、使いやすい庁舎」が23.2%、「県民の安心・安全な暮らしを守る庁舎」21.8%、「滋賀県やびわ湖の魅力を県内外にアピールできる庁舎」が20.5%となっており、上位となっている。

項目	人数(人)	割合(%)
滋賀県のシンボルとなる庁舎	544	27.2
県民に親しまれ開かれた庁舎	470	23.5
誰もが訪れやすく、使いやすい庁舎	464	23.2
県民の安心・安全な暮らしを守る庁舎	435	21.8
滋賀県やびわ湖の魅力を県内外にアピールできる庁舎	409	20.5
行政サービスや手続きのオンライン化等に対応した庁舎	306	15.3
職員の働く場所と議会機能に特化したシンプルな庁舎	148	7.4
国内外の来庁者を「おもてなし」できる庁舎	120	6.0
自然エネルギーや先進的な環境設備を活用した庁舎	119	6.0
県民同士の多世代交流、多様な県民活動の拠点を備えた庁舎	98	4.9
産官学の連携等の拠点となる庁舎	64	3.2
その他	24	1.2
今のままで良い	514	25.7

その他の主な回答

- 費用面(低コストでの建て替え、維持費がかからない庁舎)
- 地理的に中心になる場所への移転
- 機能強化(利便性、観光誘致のために映えるものにしてほしい)
- 無駄のない庁舎、質素な庁舎
- 災害時に避難できる庁舎
- 行く目的がないのでイメージがわからない。
- 不要

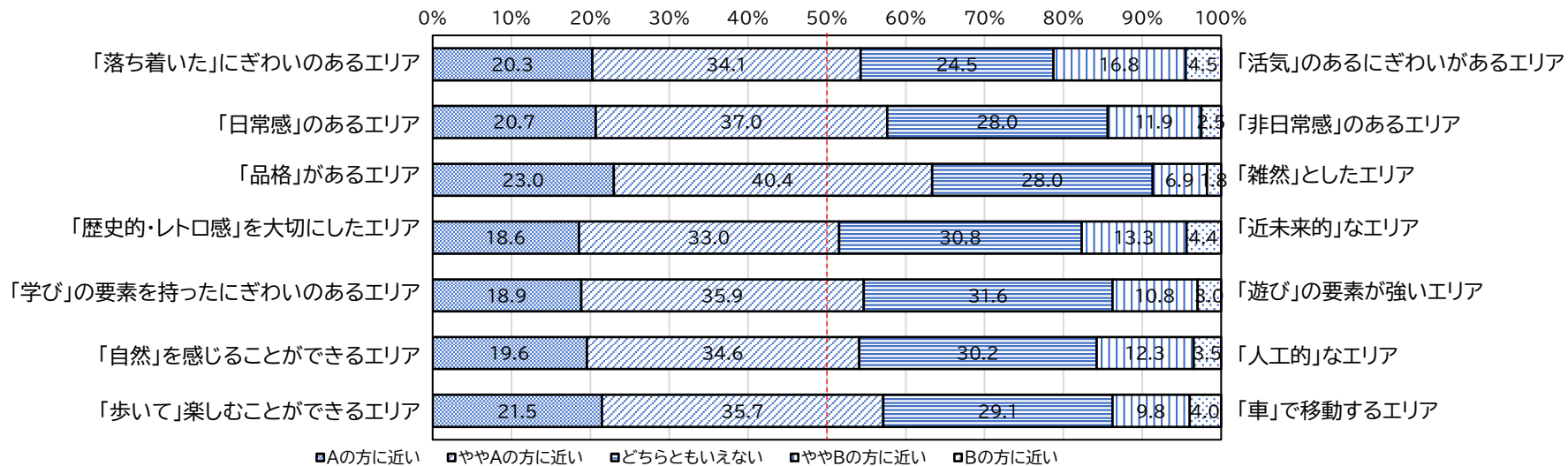


(2) 問10: 「今後」の滋賀県庁舎周辺エリアのイメージにふさわしいと思うもの

(全7項目・複数回答可)

- いずれの回答も「Aに近い」「ややAの方に近い」が、「Bに近い」「ややBの方に近い」の回答を上回った。
- 特に、「品格があるエリア」の回答は顕著に多かった。

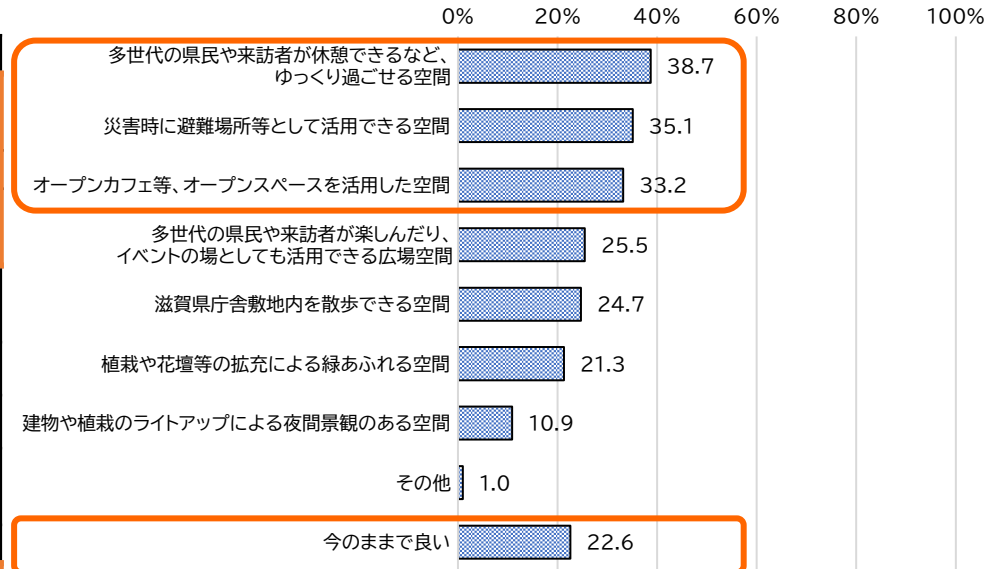
A	Aの方に近い	ややAの方に近い	どちらともいえない	ややBの方に近い	Bの方に近い	B
	%	%	%	%	%	
「落ち着いた」にぎわいのあるエリア	20.3	34.1	24.5	16.8	4.5	「活気」のあるにぎわいがあるエリア
「日常感」のあるエリア	20.7	37.0	28.0	11.9	2.5	「非日常感」のあるエリア
「品格」があるエリア	23.0	40.4	28.0	6.9	1.8	「雑然」としたエリア
「歴史的・レトロ感」を大切にしたいエリア	18.6	33.0	30.8	13.3	4.4	「近未来的」なエリア
「学び」の要素を持ったにぎわいのあるエリア	18.9	35.9	31.6	10.8	3.0	「遊び」の要素が強いエリア
「自然」を感じることができるエリア	19.6	34.6	30.2	12.3	3.5	「人工的」なエリア
「歩いて」楽しむことができるエリア	21.5	35.7	29.1	9.8	4.0	「車」で移動するエリア



(2)問11:滋賀県庁舎の敷地内にあると良い空間(いくつでも)

- 「多世代の県民や来訪者が休憩できるなど、ゆっくり過ごせる空間」(38.7%)、「災害時に避難場所等として活用できる空間」(35.1%)、「オープンカフェ等、オープンスペースを活用した空間」(33.2%)が多い。
- 一方で「今のままで良い」との回答も約23%みられる。

項目	人数(人)	割合(%)
多世代の県民や来訪者が休憩できるなど、ゆっくり過ごせる空間	773	38.7
災害時に避難場所等として活用できる空間	701	35.1
オープンカフェ等、オープンスペースを活用した空間	664	33.2
多世代の県民や来訪者が楽しんだり、イベントの場としても活用できる広場空間	510	25.5
滋賀県庁舎敷地内を散歩できる空間	494	24.7
植栽や花壇等の拡充による緑あふれる空間	426	21.3
建物や植栽のライトアップによる夜間景観のある空間	218	10.9
その他	20	1.0
今のままで良い	452	22.6



その他の主な回答

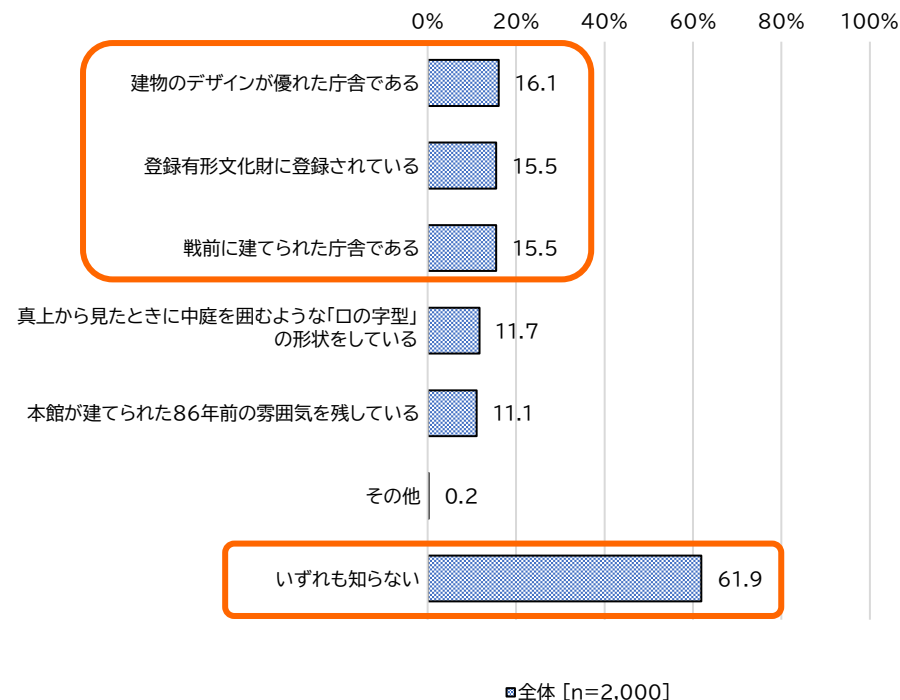
- 不要 (住民との交流など一部のみにしか還元されない要素に公金を使う必要はない)
- 子供向けの施設 (赤ちゃんや子供が遊べる空間、子育て世代が訪れやすい空間)
- 無駄な空間は無くすこと、税金を無駄にしたと思われなければいい
- 外国人向けのコンテンツや雰囲気
- 歴史的建造物
- ストリートピアノ
- 涼しい空間
- 駐車場の整備
- 特になし、わからない

□全体 [n=2,000]

(2)問12:滋賀県庁舎本館について知っていること(複数回答可)

- いずれも知らないとの回答が最も多く、約6割以上を占める。
- 回答者が突出して多かった項目はないが、「建物のデザインが優れた庁舎である」(16.1%)、「登録有形文化財に登録されている」(15.5%)、「戦前に建てられた庁舎である」(15.5%)が上位となっている。

項目	人数(人)	割合(%)
建物のデザインが優れた庁舎である	322	16.1
登録有形文化財に登録されている	310	15.5
戦前に建てられた庁舎である	309	15.5
真上から見たときに中庭を囲むような「口の字型」の形状をしている	234	11.7
本館が建てられた86年前の雰囲気を残している	222	11.1
その他	3	0.2
いずれも知らない	1237	61.9

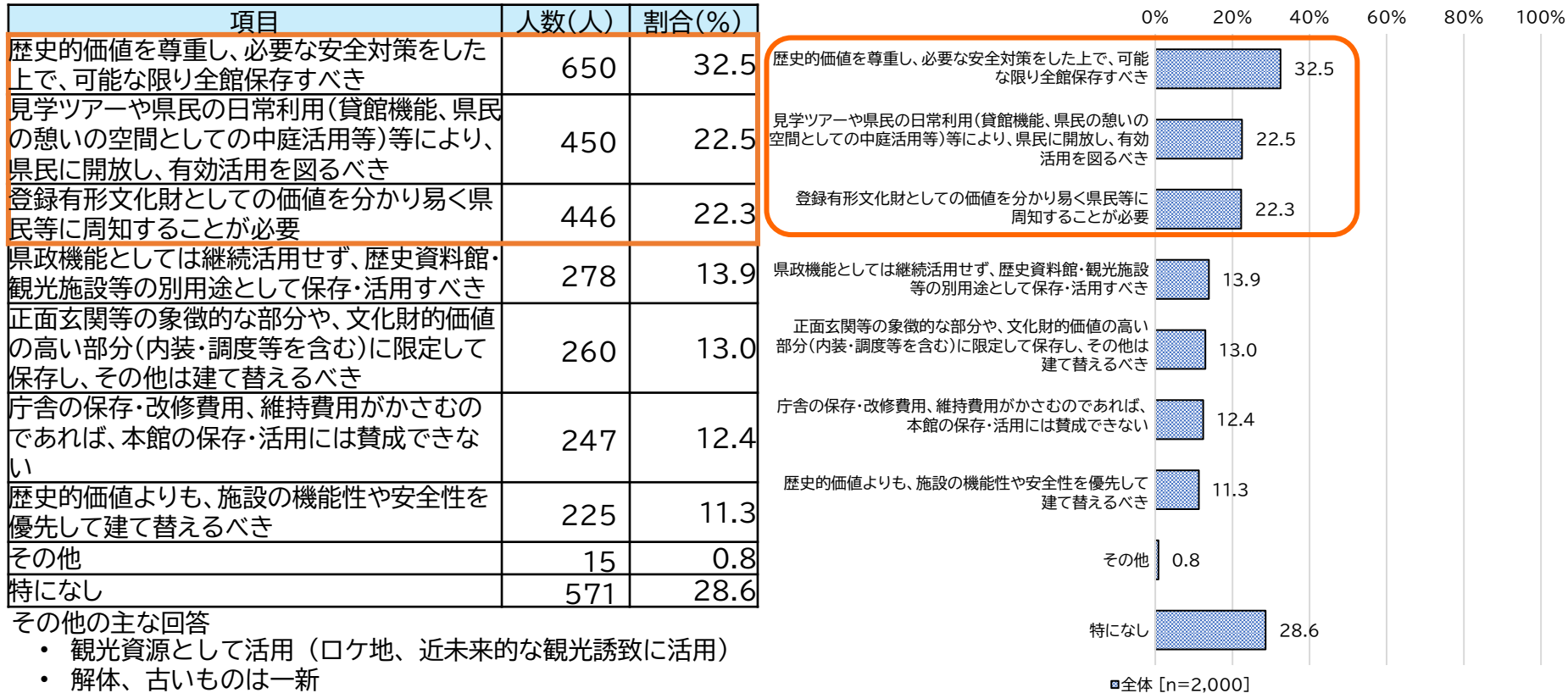


その他の主な回答

- 引越して数年なのでよくわからない
- 特になし
- 内部が複雑で、目的地にたどり着くのが難しい

(2)問13:滋賀県庁舎本館の保存や活用に対するご意見(複数回答可)

- 「歴史的価値を尊重し、必要な安全対策をした上で、可能な限り全館保存すべき」が最も多く、32.5%。
- 「見学ツアーや県民の日常利用(貸館機能、県民の憩いの空間としての中庭活用等)等により、県民に開放し、有効活用を図るべき」(22.5%)、「登録有形文化財としての価値を分かり易く県民等に周知することが必要」(22.3%)と比較的保存活用に肯定的な意見が多かった。



その他の主な回答

- 観光資源として活用(ロケ地、近未来的な観光誘致に活用)
- 解体、古いものは一新
- 県政機能として部分活用
- 滋賀県にまつわる資料館に利用
- 費用対効果を考慮すべき、歴史的価値よりもコスト感を優先してほしい
- 建物の価値も大事だが、県民の利便性を考えるべき
- 税金を無駄にした印象を与えなければいい

職員アンケート調査結果



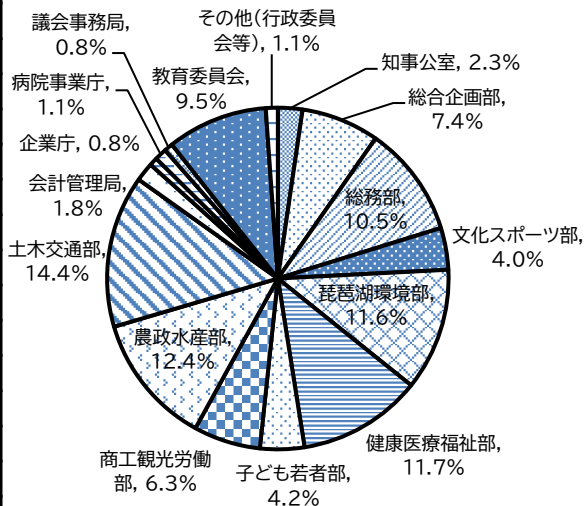
2.職員アンケート調査結果(結果の分析報告)

(1)調査概要・回答者属性

- 調査対象 職員 5,278名(うち、本庁舎勤務 2,112名 本庁舎以外勤務 3,166名) ※2026年1月26日時点
- 回答数 2,196人(うち、本庁舎勤務 1,134名 本庁舎以外勤務 1,062名)
- 回収率 41.6%(本庁舎勤務 53.7% 本庁舎以外勤務 33.5%)
- 実施期間 令和8年1月26日(月)～2月20日(金)
- 調査方法 しがネット受付サービスにて回答を収集

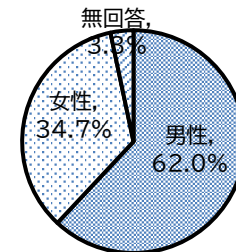
◆所属部局

項目	人数(人)	割合(%)
知事公室	51	2.3
総合企画部	162	7.4
総務部	231	10.5
文化スポーツ部	87	4.0
琵琶湖環境部	254	11.6
健康医療福祉部	258	11.7
子ども若者部	92	4.2
商工観光労働部	139	6.3
農政水産部	273	12.4
土木交通部	316	14.4
会計管理局	39	1.8
企業庁	17	0.8
病院事業庁	25	1.1
議会事務局	18	0.8
教育委員会	209	9.5
その他(行政委員会等)	25	1.1
合計	2196	100.0



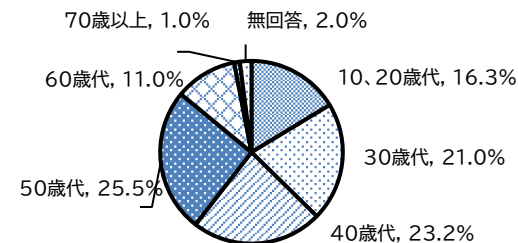
◆性別

項目	人数(人)	割合(%)
男性	1361	62.0
女性	762	34.7
無回答	73	3.3
合計	2196	100.0



◆年代

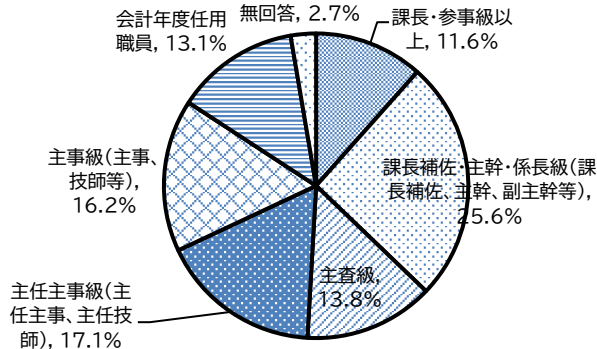
項目	人数(人)	割合(%)
10、20歳代	359	16.3
30歳代	461	21.0
40歳代	509	23.2
50歳代	559	25.5
60歳代	241	11.0
70歳以上	22	1.0
無回答	45	2.0
合計	2196	100.0



(1)調査概要・回答者属性

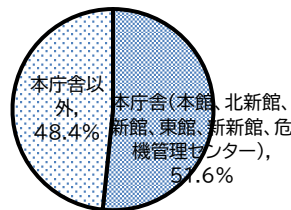
◆職位

項目	人数(人)	割合(%)
課長・参事級以上	254	11.6
課長補佐・主幹・係長級(課長補佐、主幹、副主幹等)	562	25.6
主査級	302	13.8
主任主事級(主任主事、主任技師)	376	17.1
主事級(主事、技師等)	355	16.2
会計年度任用職員	288	13.1
無回答	59	2.7
合計	2196	100.0



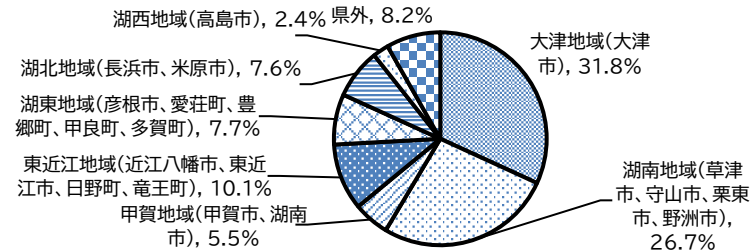
◆勤務庁舎

項目	人数(人)	割合(%)
本庁舎(本館、北新館、新館、東館、新新館、危機管理センター)	1134	51.6
本庁舎以外	1062	48.4
合計	2196	100.0



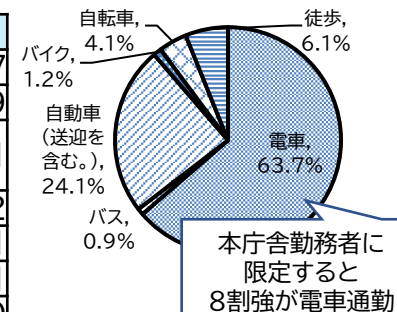
◆地域

項目	人数(人)	割合(%)
大津地域(大津市)	699	31.8
湖南地域(草津市、守山市、栗東市、野洲市)	587	26.7
甲賀地域(甲賀市、湖南市)	120	5.5
東近江地域(近江八幡市、東近江市、日野町、竜王町)	222	10.1
湖東地域(彦根市、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町)	168	7.7
湖北地域(長浜市、米原市)	166	7.6
湖西地域(高島市)	53	2.4
県外	181	8.2
合計	2196	100.0



◆通勤手段

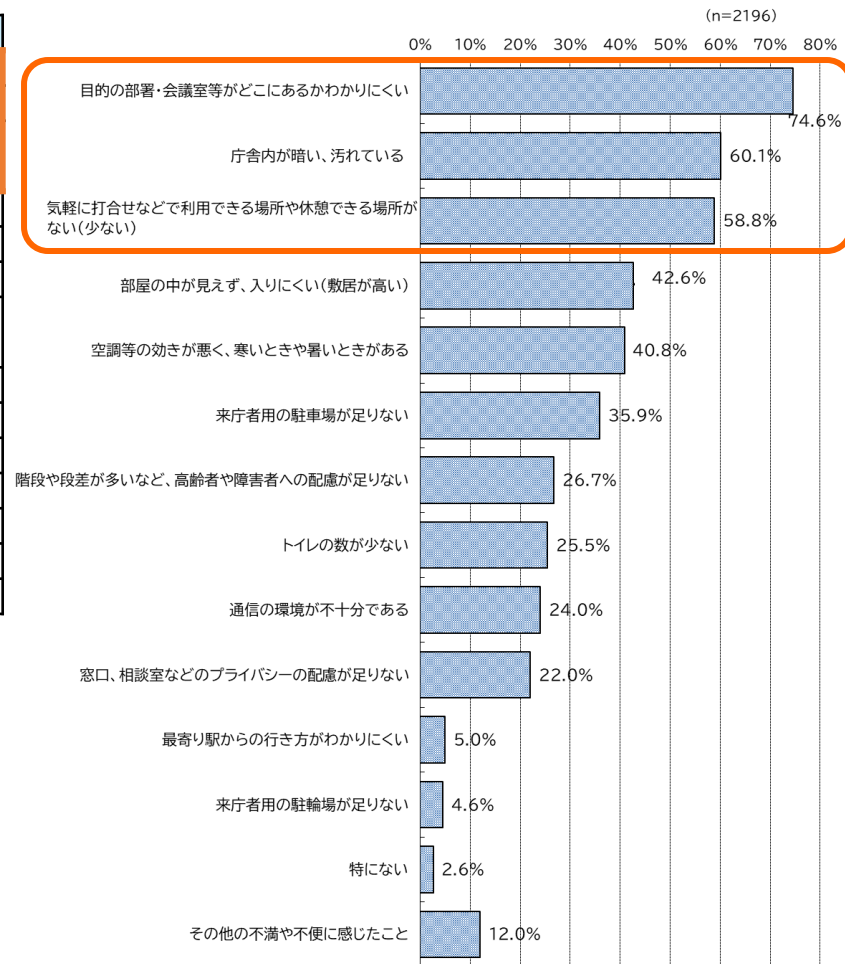
項目	人数(人)	割合(%)
電車	1398	63.7
バス	20	0.9
自動車(送迎を含む。)	529	24.1
バイク	26	1.2
自転車	89	4.1
徒歩	134	6.1
合計	2196	100.0



(2)問1:本庁舎に対して不満や不便に感じることは何ですか。(複数回答可)

- 「目的の部署・会議室等がどこにあるかわかりにくい」が最多(74.6%)となっている。
- 「庁舎内が暗い、汚れている」(60.1%)、「気軽に打合せなどで利用できる場所や休憩できる場所がない(少ない)」(58.8%)等の項目も多い。

項目	人数(人)	割合(%)
目的の部署・会議室等がどこにあるかわかりにくい	1638	74.6
庁舎内が暗い、汚れている	1320	60.1
気軽に打合せなどで利用できる場所や休憩できる場所がない(少ない)	1291	58.8
部屋の中が見えず、入りにくい(敷居が高い)	936	42.6
空調等の効きが悪く、寒いときや暑いときがある	897	40.8
来庁者用の駐車場が足りない	788	35.9
階段や段差が多いなど、高齢者や障害者への配慮が足りない	587	26.7
トイレの数が少ない	560	25.5
通信の環境が不十分である	528	24.0
窓口、相談室などのプライバシーの配慮が足りない	483	22.0
最寄り駅からの行き方がわかりにくい	110	5.0
来庁者用の駐輪場が足りない	100	4.6
特にない	57	2.6
その他の不満や不便に感じたこと	264	12.0



※その他の回答は次項

(2)問1:本庁舎に対して不満や不便に感じることは何ですか。(複数回答可)

※その他の回答一覧

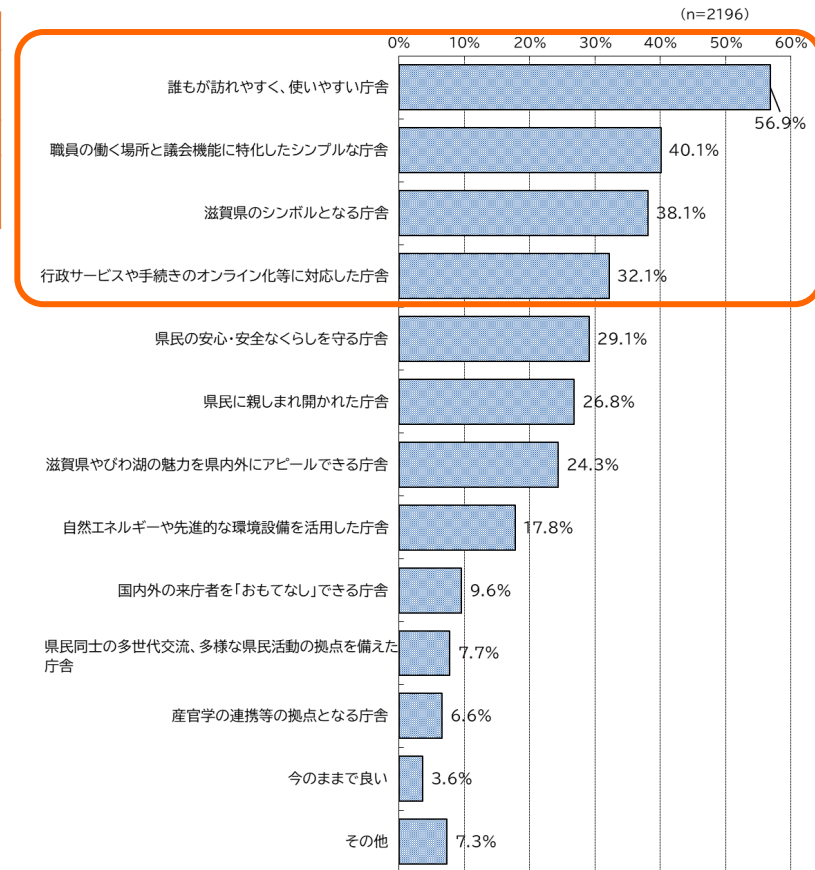
トイレ	環境(汚い、臭い、暗い、古い、寒い) 設備(洋式トイレの数が少ない、流れが悪い、温水が出ない)	76	スペース不足	執務室が狭い、課によって差がある 更衣スペースが狭い	24
複雑でわかりにくい、迷いやすい	新館の入り口が2階や接続する階の「階数ずれ」構造 棟の名前(継ぎ足しの増築状況、建物イメージに反した「新館」という名前による混乱等) 接続がわかりにくい(渡り廊下、利用できるEV) 案内の方法(階数表示がない、大きな館内図がない) 会議室への行き方がわかりにくい	64	会議室不足	会議室が少ない(予約できない) 来庁者との打合せスペース、web会議ブース等の不足	22
利用者の快適さ	空調の個別制御ができない 埃っぽい・空気が悪い 暗い 外部の方が待てるスペースがない 清掃の状況が悪い 駐車場・駐輪場の位置が悪い 雨天の際に濡れる ゴミがあふれている 周辺に食事できる場所がない	58	セキュリティに問題がある	誰でも入れてしまう、機密情報の管理上よくない セキュリティのゾーニング(一般の方が入れる場所とそうでない場所)が必要 ロッカーに鍵がかけられない	21
職員の労働環境	部署間の連携がとりづらい 執務室(通信環境が悪い、書類が多い、配線がむき出し音がうるさい) 更衣室、ロッカー、仮眠室、シャワーブース、 衛生的な給湯(飲料用)、喫煙所等が不足 職員用駐車場(居住地、子どもの送り迎えのための要望あり)	40	飲食スペース・休憩スペースの不足	県民の目に付く場所で昼食・休憩をすることが良くない 食堂が利用しづらい、給水スポットが少ない 食堂に魅力を感じない 中庭が活用されていない(雨天時、夏や冬は利用できない)	25
ユニバーサルデザインの不十分さ	バリアフリーが不十分 乳幼児・子供・LGBTQ・病気の方等への配慮が不十分 駅から県庁までの道が傾斜等で歩きにくい	38	廊下環境	見通しが悪い、物が置いてあり狭い、滑る、汚い	11
施設の老朽化	古い・空調の効きが悪い、壁の剥がれや什器の古さ 設備の故障の多さ、エレベーターが古い 等	29	その他	非常時の通信やトイレの確保 廊下への備品の放置は税金を粗末に扱っているように思える 立地に関する意見(彦根か近江八幡に位置するのが合理的、湖北から遠い) 新館玄関側が県庁の顔になっているので充実すべき 張り紙・ポスターの掲示が多く、乱雑な印象 挨拶がない(守衛さんや清掃員の方等の対人スキル、職員の応答) 職員の顔がしんどそう	50

(3)問2:これからの本庁舎に対しどのようなことを期待しますか。(複数回答可)

- 「誰もが訪れやすく、使いやすい庁舎」が最多(56.9%)となっている。
- 「職員の働く場所と議会機能に特化したシンプルな庁舎」(40.1%)、「滋賀県のシンボルとなる庁舎」(38.1%)、「行政サービスや手続きのオンライン化等に対応した庁舎」(32.1%)等の項目も多かった。

項目	人数(人)	割合(%)
誰もが訪れやすく、使いやすい庁舎	1249	56.9
職員の働く場所と議会機能に特化したシンプルな庁舎	880	40.1
滋賀県のシンボルとなる庁舎	836	38.1
行政サービスや手続きのオンライン化等に対応した庁舎	706	32.1
県民の安心・安全な暮らしを守る庁舎	639	29.1
県民に親しまれ開かれた庁舎	588	26.8
滋賀県やびわ湖の魅力を県内外にアピールできる庁舎	534	24.3
自然エネルギーや先進的な環境設備を活用した庁舎	390	17.8
国内外の来庁者を「おもてなし」できる庁舎	210	9.6
県民同士の多世代交流、多様な県民活動の拠点を備えた庁舎	170	7.7
産官学の連携等の拠点となる庁舎	145	6.6
今のままで良い	80	3.6
その他	161	7.3

※その他の回答は次項



(3)問2:これからの本庁舎に対しどのようなことを期待しますか。(複数回答可)

※その他の回答一覧

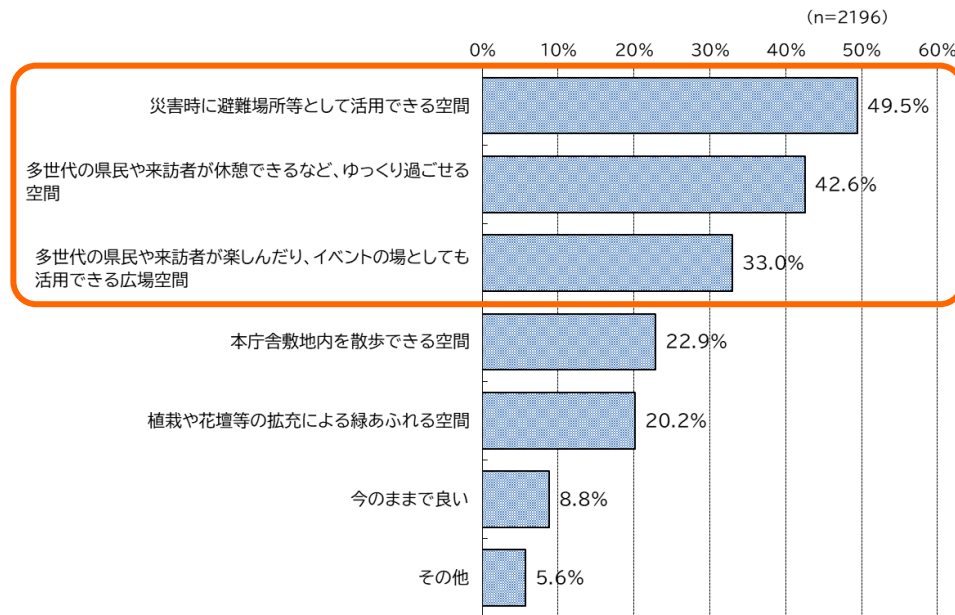
職員が心地よく働けること、働きたくなる・選ばれる庁舎 執務環境の改善(狭さ・空調・音・印象・通信環境 等) 職員用駐車場の確保、トイレの改善、 職員同士の交流スペースの確保	72
利用者の利便性の充実、環境の改善 駅から直結の利便性、通信環境の改善、駐車場の確保 飲食店・売店などの導入、来庁者へのホスピタリティ	37
空間の効率性(執務スペースの確保)・機能的・シンプルな庁舎	30
清潔感のある庁舎・綺麗な庁舎・見栄えの良い庁舎、 老朽化した部分や設備等の早急な改修	27
セキュリティの確保(入退館管理、一般の方が入れる部分とのゾーニング)	26
災害対策(耐震化・受援体制の構築・BCP性能の強化)	20
会議スペース・打合せスペースの充実・大会議室(講演会・説明会・研修等に利用可)の確保	14
柔軟な働き方への対応(テレワークの導入への対応、人員の増加や組織改編への柔軟な対応が可能な庁舎、大手民間企業や先進自治体と比較して遜色のない設備の確保)	12
持続可能な設計(メンテナンス性の高い庁舎、維持管理費用の低減、フレキシブルな庁舎)	12
わかりづらさの解消	3

その他 お金をかけない、デザイン・コンセプトは不要、質素であるべき バリアフリー 議会庁舎の別館化 本館の活用、歴史を感じられる庁舎 1階部分の全面的な開放(香川県庁舎のイメージ) デジタル化の進んだ庁舎 民間活力の導入(オフィス)、店舗の導入(テナント賃料を見込む) 挨拶や会話の多い活気のある庁舎 交流拠点は本庁舎外に設けるべき 駅から直結の庁舎 周囲の商業施設の充実・駅前の開発 今のままで良い、期待することはない	45
--	----

(4)問3:本庁舎の敷地内にどのような空間があると良いですか。(複数回答可)

- 「災害時に避難場所等として活用できる空間」が最多(49.5%)となっている。
- 「多世代の県民や来訪者が休憩できるなど、ゆっくり過ごせる空間」(42.6%)、「多世代の県民や来訪者が楽しんだり、イベントの場としても活用できる広場空間」(33.0%)等の項目も多かった。

項目	人数(人)	割合(%)
災害時に避難場所等として活用できる空間	1087	49.5
多世代の県民や来訪者が休憩できるなど、ゆっくり過ごせる空間	935	42.6
多世代の県民や来訪者が楽しんだり、イベントの場としても活用できる広場空間	724	33.0
本庁舎敷地内を散歩できる空間	502	22.9
植栽や花壇等の拡充による緑あふれる空間	443	20.2
今のままで良い	193	8.8
その他	124	5.6



※その他の回答は次項

(4)問3:本庁舎の敷地内にどのような空間があると良いですか。(複数回答可)

※その他の回答一覧

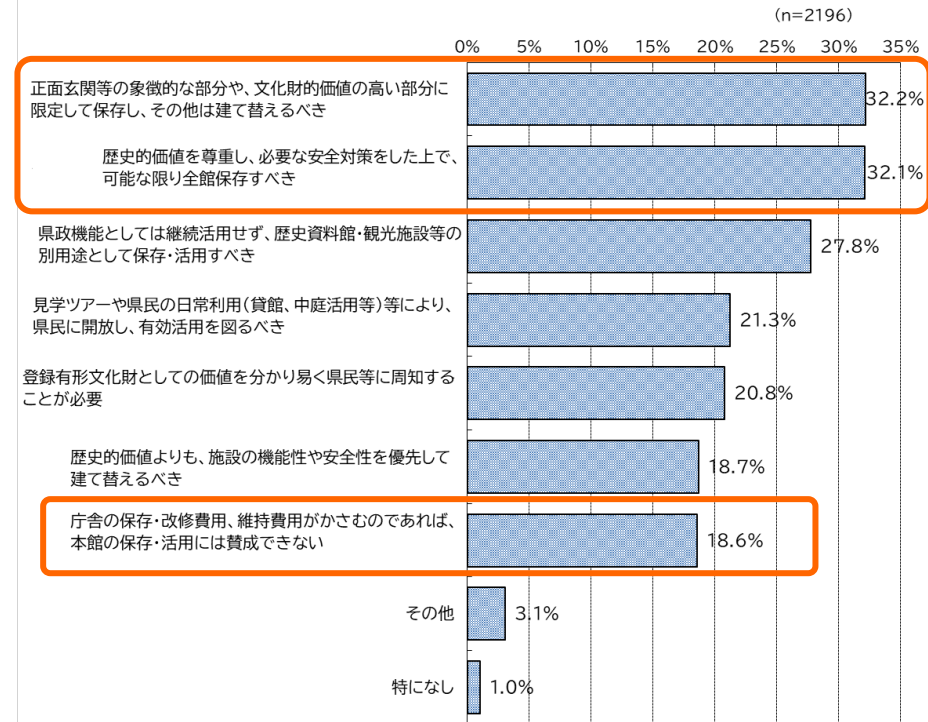
県民利用可能スペース (自然・緑のあふれる空間、県民の活動場所、コンビニ、展望施設、展示・土産売場等滋賀ならではのものに触れられるスペース、屋上の活用、本館の観光施設としての活用、本屋、こども園・保育園、木育施設、学習スペース、福祉スペース、体育館(防災兼用))	29
業務効率化 (IT・オンライン会議環境の充実、個室ブース、コワーキングスペース(民間も利用可)、立って仕事ができる場所、集中ブース、収納スペースの充実、機密性の高い業務用のスペース、フリーアドレスの導入)	27
休憩スペース (持込飲食スペース、談話室・ラウンジ・くつろげるスペース、軽い運動ができるスペース(屋内))	22
会議室	20
打合せスペース	17
職員専用スペース (職員同士の交流空間、シャワー室、ゆっくりできる空間、仮眠室)	14
カフェ・レストラン・食堂・給水スポット	14
多目的空間 (誰もが使いやすいスペース、食事もとれて簡単な打合せもできる場所、災害時の活動拠点を兼ねる場所、広いロビー(催し物等が可能)、催し物ができる場所、交流スペース、多様なスタイルの打合せができる場所)	11
喫煙スペース	8
災害時対応	8

その他 屋上庭園 新館側エントランスの活用 医療機関、応急医療の提供場所 駐車場、一時駐車スペース、送迎車両用スペース きれいなトイレ、幼児用トイレ ジム 敷地内が雑多でイメージできない 職員のスペースのみでよい、無駄なものをつくるべきではない	30
---	----

(5)問4:本館の今後の保存や活用に対する意見(複数回答可)

- 「正面玄関等の象徴的な部分や、文化財的価値の高い部分に限定して保存し、その他は建て替えるべき」(32.2%)と「歴史的価値を尊重し、必要な安全対策をした上で、可能な限り全館保存すべき」(32.1%)が最も多くなっている。
- 一方で、「庁舎の保存・改修費用、維持費用がかさむのであれば、本館の保存・活用には賛成できない」(18.6%)も一定数意見があった。

項目	人数(人)	割合(%)
正面玄関等の象徴的な部分や、文化財的価値の高い部分に限定して保存し、その他は建て替えるべき	707	32.2
歴史的価値を尊重し、必要な安全対策をした上で、可能な限り全館保存すべき	706	32.1
県政機能としては継続活用せず、歴史資料館・観光施設等の別用途として保存・活用すべき	610	27.8
見学ツアーや県民の日常利用(貸館、中庭活用等)等により、県民に開放し、有効活用を図るべき	467	21.3
登録有形文化財としての価値を分かり易く県民等に周知することが必要	457	20.8
歴史的価値よりも、施設の機能性や安全性を優先して建て替えるべき	411	18.7
庁舎の保存・改修費用、維持費用がかさむのであれば、本館の保存・活用には賛成できない	408	18.6
その他	68	3.1
特になし	23	1.0



(5)問4:本館の今後の保存や活用に対する意見(複数回答可)

※その他の回答一覧

保存活用に前向きな御意見をいただいた方(31名)

地域活性化・観光資源・発信で活用することが望ましい(滋賀県PR拠点や店舗、カフェレストラン・ホテル・ロケ地利用等)	19
歴史的な価値・文化財的な価値があると感じる	12
県政機能での利用(適切な規模の執務空間を残す)が望ましい	6
県政機能での利用(議会と歓迎機能のみを残す)が望ましい	1
本館から県政機能は移転し、他の場所で確保すべき	6
日々の適切な維持管理を行って保存活用すべき	2
文化財的価値を活かした収入源としての活用(商業テナント・写真撮影・民間ホテル)すべき	2
その他の提案(図書館の機能を入れる、本館ツアーの開催、宿泊施設、博物館にする、地下空間の活用、大津駅側から来た時の工夫)	10

部分的な保存活用や条件付きでの保存活用等の御意見をいただいた方(27名)

残す価値の高い部分に限って保存活用することが望ましい	18
財源の確保や維持管理にかかる費用を勘案した上で可能であれば保存活用を行うことが望ましい	11
県政機能での利用が望ましい	11
機能に応じた安全性・環境等を確保した上での活用が必要	10
本館から県政機能は移転し、他の場所で確保すべき	5
その他(京都市役所/京都府庁のような考えを取り入れるべき、神戸地裁のような保存活用部分との増築・合築など)	5
地域活性化・観光資源・発信で活用することが望ましい(収益が得られるなら保存・改修、県民との交流の場、本館や当3時の意匠が残る部分をまとめ展示)	3

保存活用には反対・本館への価値を感じない等の御意見をいただいた方(7名)

文化財であることに固執しなくて良い、歴史的価値を強調しすぎ(複数)
歴史的価値よりも働く職員にとっての環境を重視すべき(複数)
障害者にとって本館は、やさしくない
入館料が取れるほどのものでもなく、財源を割くことは難しい
壊してタワーにし、下層階は、民間活用等で大津駅前の有効活用をすべき
建物正面も都市構造とかみ合っておらず、ゼロベースで建て替えを含めて検討するべき

その他の御意見をいただいた方(3名)

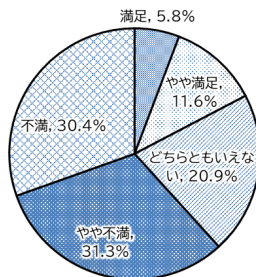
維持費用がかかるのであれば売却すべき
県庁は湖南地域以外に移すべき
県庁の正面玄関は線路側にあった方が良い。価値が高いことは分かるが、来庁者の大半は、正面玄関を見たことがないと思う。

(6)問5:職場環境について (5段階評価:1.満足 2. やや満足 3. どちらともいえない 4. やや不満 5. 不満)

- いずれも、「満足」・「やや満足」と答えた人の割合が、「不満」・「やや不満」と答えた人の割合を上回っている項目はなく、改善を要する項目であると考えられる。
- 以下の項目の中では、「庁舎内の動線」、「来庁者対応スペース」、「執務室内の快適さ」等の項目について、「不満」・「やや不満」と回答した人の割合が約7割を占めており、改善が必要な項目と考えられる。

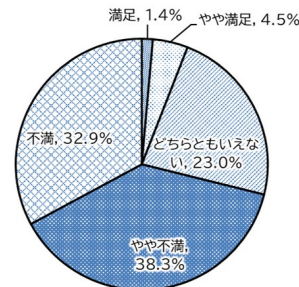
執務室の広さ

項目	人数(人)	割合(%)
満足	127	5.8
やや満足	254	11.6
どちらともいえない	459	20.9
やや不満	688	31.3
不満	668	30.4



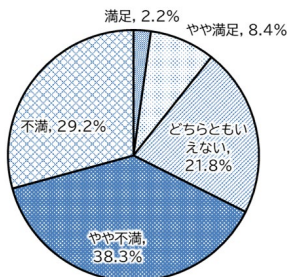
来庁者対応スペース

項目	人数(人)	割合(%)
満足	31	1.4
やや満足	99	4.5
どちらともいえない	504	23.0
やや不満	840	38.3
不満	722	32.9



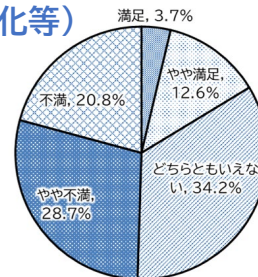
執務室の快適さ

項目	人数(人)	割合(%)
満足	49	2.2
やや満足	185	8.4
どちらともいえない	478	21.8
やや不満	842	38.3
不満	642	29.2



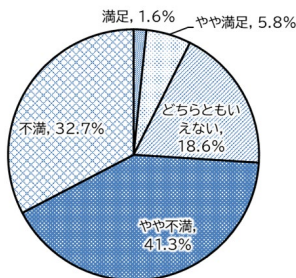
職務上の情報化対応(Wi-Fi、OAフロア化等)

項目	人数(人)	割合(%)
満足	82	3.7
やや満足	277	12.6
どちらともいえない	750	34.2
やや不満	630	28.7
不満	457	20.8



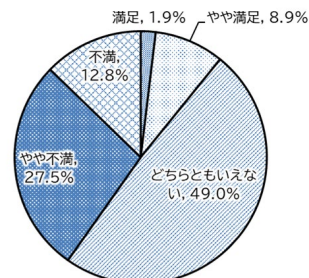
庁舎内の動線

項目	人数(人)	割合(%)
満足	36	1.6
やや満足	127	5.8
どちらともいえない	408	18.6
やや不満	908	41.3
不満	717	32.7



他所属との連携の取りやすさ

項目	人数(人)	割合(%)
満足	42	1.9
やや満足	196	8.9
どちらともいえない	1075	49.0
やや不満	603	27.5
不満	280	12.8



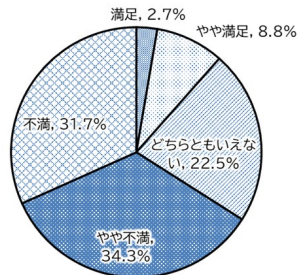
2.職員アンケート調査結果(結果の分析報告)

(6)問5:職場環境について(5段階評価:1.満足 2. やや満足 3. どちらともいえない 4. やや不満 5. 不満)

- いずれも、「満足」・「やや満足」と答えた人の割合が、「不満」・「やや不満」と答えた人の割合を上回っている項目はなく、改善を要する項目であると考えられる。
- 「空調環境」の項目については特に「不満」・「やや不満」と回答した人の割合が約65%、「文書保管スペース」で約59%を占めており、改善が必要な項目と考えられる。

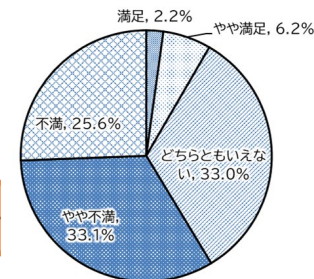
空調環境

項目	人数(人)	割合(%)
満足	59	2.7
やや満足	194	8.8
どちらともいえない	494	22.5
やや不満	753	34.3
不満	696	31.7



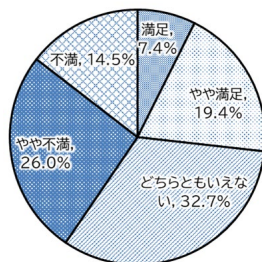
文書保管スペース

項目	人数(人)	割合(%)
満足	48	2.2
やや満足	136	6.2
どちらともいえない	724	33.0
やや不満	726	33.1
不満	562	25.6



照明環境

項目	人数(人)	割合(%)
満足	162	7.4
やや満足	426	19.4
どちらともいえない	719	32.7
やや不満	570	26.0
不満	319	14.5



※その他の回答一覧

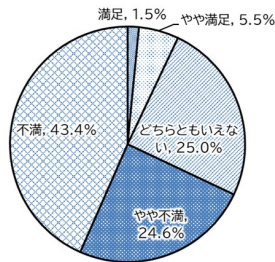
スペース不足	111
労働環境の不適切さ	76
空調の不備	74
設備の老朽化	61
清潔感の欠如	30
セキュリティの問題	24
通信環境	19
コミュニケーションスペースの不足	17
安全性の懸念	15
アクセスの悪さ	14
本庁利用なし	6
意見なし	3
その他(業務の内容に応じた丁寧な検討への要望、多様性への配慮、什器の刷新、人材獲得の視点での検討 等)	39

(6)問5:職場環境について (5段階評価:1.満足 2. やや満足 3. どちらともいえない 4. やや不満 5. 不満)

- 共用会議室については、箇所数について「不満」・「やや不満」と答えた人の割合が特に多かった。
- また、共用会議室に関する各項目について、「満足」・「やや満足」と答えた人の割合はいずれの項目についても2割を下回っており、総じて満足度が高い結果とは言いがたい。

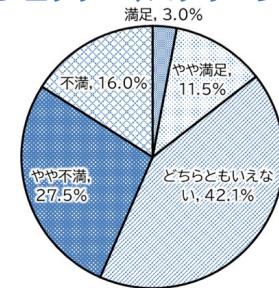
共用会議室 箇所数

項目	人数(人)	割合(%)
満足	34	1.5
やや満足	121	5.5
どちらともいえない	548	25.0
やや不満	540	24.6
不満	953	43.4



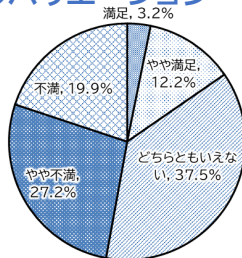
共用会議室 設備の充実度(モニター、プロジェクター、スクリーン等)

項目	人数(人)	割合(%)
満足	65	3.0
やや満足	253	11.5
どちらともいえない	924	42.1
やや不満	603	27.5
不満	351	16.0



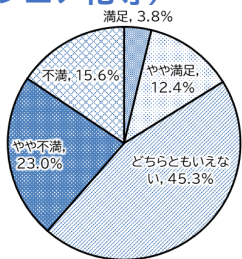
共用会議室 部屋の広さや収容人数などのバリエーション

項目	人数(人)	割合(%)
満足	70	3.2
やや満足	268	12.2
どちらともいえない	823	37.5
やや不満	598	27.2
不満	437	19.9



共用会議室 情報化対応(Wi-Fi対応、OAフロア化等)

項目	人数(人)	割合(%)
満足	83	3.8
やや満足	272	12.4
どちらともいえない	994	45.3
やや不満	504	23.0
不満	343	15.6



※その他の回答一覧

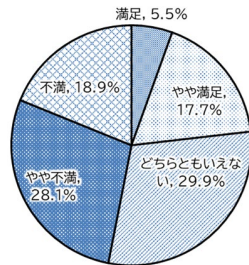
会議室不足	110
環境整備の重要性	51
設備の充実	49
オンライン会議対応	39
予約の取りにくさ	31
小規模会議室の需要	25
特定所属の利用独占	17
共用スペースの必要性	13
会議室の利用効率	11
利用したことがない	11
意見なし	4
その他(会議室の清掃について、業務内容に応じた優先利用の仕組み 等)	12

(6)問5:職場環境について (5段階評価:1.満足 2. やや満足 3. どちらともいえない 4. やや不満 5. 不満)

- トイレについては、「機能性(設備の充実度)」および「清潔度」の項目について「不満」・「やや不満」と答えた人の割合が5割を超えている。

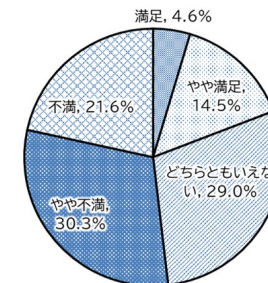
トイレ_箇所数

項目	人数(人)	割合(%)
満足	121	5.5
やや満足	388	17.7
どちらともいえない	657	29.9
やや不満	616	28.1
不満	414	18.9



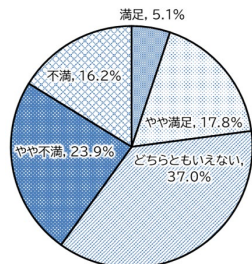
トイレ_機能性(設備等の充実度)

項目	人数(人)	割合(%)
満足	102	4.6
やや満足	319	14.5
どちらともいえない	636	29.0
やや不満	665	30.3
不満	474	21.6



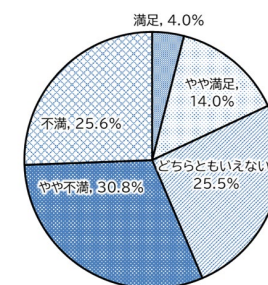
トイレ_位置・配置バランス

項目	人数(人)	割合(%)
満足	113	5.1
やや満足	390	17.8
どちらともいえない	813	37.0
やや不満	524	23.9
不満	356	16.2



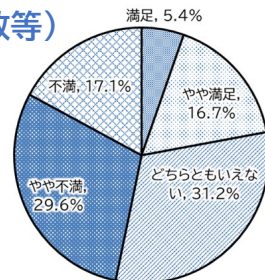
トイレ_清潔度

項目	人数(人)	割合(%)
満足	88	4.0
やや満足	308	14.0
どちらともいえない	561	25.5
やや不満	677	30.8
不満	562	25.6



トイレ_1カ所当たりの規模感(広さ・便器数等)

項目	人数(人)	割合(%)
満足	118	5.4
やや満足	367	16.7
どちらともいえない	685	31.2
やや不満	650	29.6
不満	376	17.1



※その他の回答一覧

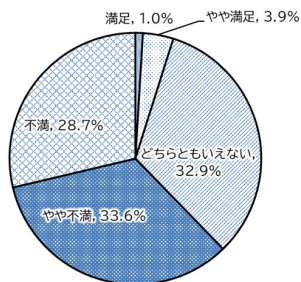
設備の改善要望	161	トイレの老朽化	18
洋式トイレの不足	92	利用者の不便	9
清潔感の欠如	73	トイレの混雑	6
女子トイレ不足	47	利用したことがない	2
清掃業者の質	47	意見なし	5
和式トイレの多さ	35	その他(和式便所も必要、マナーの向上等)	48
バリアフリー対応	30		
トイレ不足	26		

(6)問5:職場環境について(5段階評価:1.満足 2. やや満足 3. どちらともいえない 4. やや不満 5. 不満)

- 休憩スペースについては、清潔度以外の項目で、「不満」・「やや不満」と答えた人の割合が、約5割を上回っており、満足度が低いことが読み取れる。
- 特に、箇所数については約62%が、「不満」・「やや不満」と回答している。

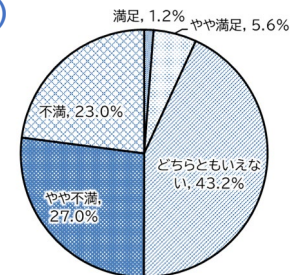
休憩 箇所数

項目	人数(人)	割合(%)
満足	21	1.0
やや満足	86	3.9
どちらともいえない	722	32.9
やや不満	737	33.6
不満	630	28.7



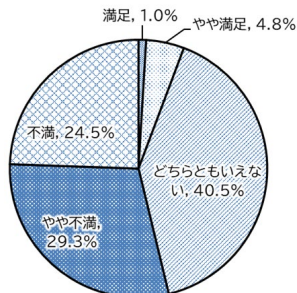
休憩 機能性(設備等の充実度、使い勝手)

項目	人数(人)	割合(%)
満足	27	1.2
やや満足	124	5.6
どちらともいえない	948	43.2
やや不満	593	27.0
不満	504	23.0



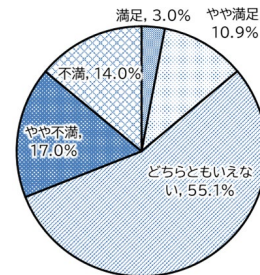
休憩 位置・配置バランス

項目	人数(人)	割合(%)
満足	21	1.0
やや満足	105	4.8
どちらともいえない	889	40.5
やや不満	644	29.3
不満	537	24.5



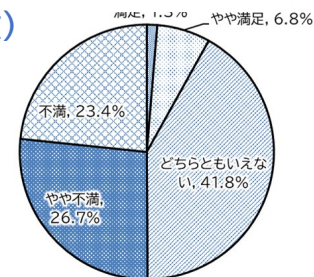
休憩 清潔度

項目	人数(人)	割合(%)
満足	66	3.0
やや満足	240	10.9
どちらともいえない	1210	55.1
やや不満	373	17.0
不満	307	14.0



休憩 1カ所当たりの規模感(広さ・座席数)

項目	人数(人)	割合(%)
満足	29	1.3
やや満足	149	6.8
どちらともいえない	918	41.8
やや不満	587	26.7
不満	513	23.4



※その他の回答一覧

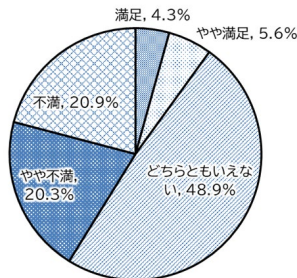
休憩スペースの位置不明	100	執務室での休憩の問題	17
休憩スペースの不足	58	外部からの視線の配慮	17
既存スペースの不満	52	多目的スペースの要求	16
職員専用スペースの必要性	40	意見なし	3
飲食可能なスペースの要望	31	その他(休憩スペースは不要、	31
利用経験の欠如	25	マナー向上、自販機設置 等)	

(6)問5:職場環境について (5段階評価:1.満足 2. やや満足 3. どちらともいえない 4. やや不満 5. 不満)

- 食堂については、いずれの項目も「どちらともいえない」との回答が目立ち、満足とも不満とも取れない結果となった。
- 「箇所数」「機能性(メニュー等の充実度、使い勝手)」等の項目で比較的、「やや不満」「不満」と回答した人の割合が多かった。

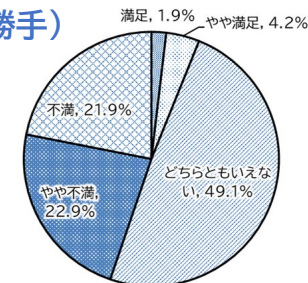
食堂 箇所数

項目	人数(人)	割合(%)
満足	95	4.3
やや満足	124	5.6
どちらともいえない	1073	48.9
やや不満	445	20.3
不満	459	20.9



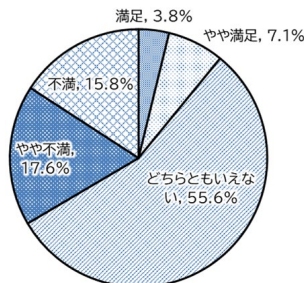
食堂 機能性(メニュー等の充実度、使い勝手)

項目	人数(人)	割合(%)
満足	41	1.9
やや満足	93	4.2
どちらともいえない	1079	49.1
やや不満	502	22.9
不満	481	21.9



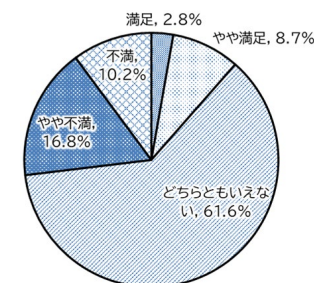
食堂 位置・配置バランス

項目	人数(人)	割合(%)
満足	84	3.8
やや満足	156	7.1
どちらともいえない	1221	55.6
やや不満	387	17.6
不満	348	15.8



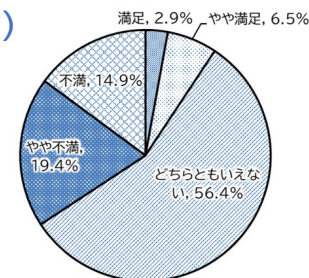
食堂 清潔度

項目	人数(人)	割合(%)
満足	61	2.8
やや満足	191	8.7
どちらともいえない	1353	61.6
やや不満	368	16.8
不満	223	10.2



食堂 1カ所当たりの規模感(広さ・座席数)

項目	人数(人)	割合(%)
満足	63	2.9
やや満足	142	6.5
どちらともいえない	1239	56.4
やや不満	425	19.4
不満	327	14.9



※その他の回答一覧

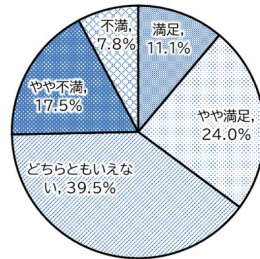
利用なし	81	施設の清潔感	11
利用しやすさ	67	営業時間	7
価格	52	地元食材の使用	7
メニュー	50	職員の健康	4
アクセス	25	意見なし	3
食堂の雰囲気	19	その他(食堂は不要、弁当を食べる場所が欲しい、費用補助の要望 等)	59
職員以外の利用促進	18		

(6)問5:職場環境について (5段階評価:1.満足 2. やや満足 3. どちらともいえない 4. やや不満 5. 不満)

- 売店については、いずれの項目についても、「満足」・「やや満足」と回答した人の割合が、「不満」・「やや不満」と回答した人の割合を上回っており、比較的満足度が高いことがわかった。

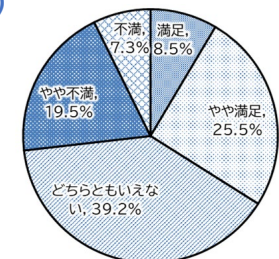
売店 箇所数

項目	人数(人)	割合(%)
満足	244	11.1
やや満足	528	24.0
どちらともいえない	868	39.5
やや不満	385	17.5
不満	171	7.8



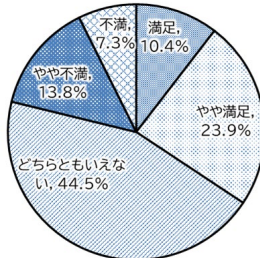
売店 機能性(設備等の充実度、使い勝手)

項目	人数(人)	割合(%)
満足	187	8.5
やや満足	559	25.5
どちらともいえない	861	39.2
やや不満	429	19.5
不満	160	7.3



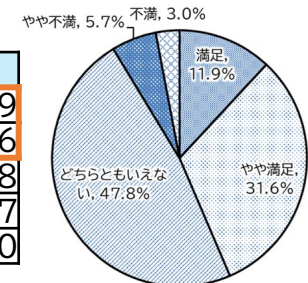
売店 位置・配置バランス

項目	人数(人)	割合(%)
満足	229	10.4
やや満足	525	23.9
どちらともいえない	977	44.5
やや不満	304	13.8
不満	161	7.3



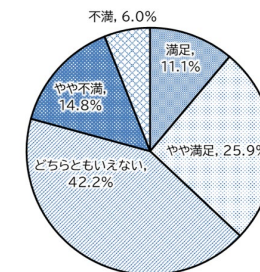
売店 清潔度

項目	人数(人)	割合(%)
満足	262	11.9
やや満足	694	31.6
どちらともいえない	1049	47.8
やや不満	125	5.7
不満	66	3.0



売店 1カ所当たりの規模感(広さ)

項目	人数(人)	割合(%)
満足	244	11.1
やや満足	569	25.9
どちらともいえない	927	42.2
やや不満	324	14.8
不満	132	6.0



※その他の回答一覧

品数の充実	46	イートインスペースの改善	15
アクセスの改善	26	営業時間の延長	8
価格の高さ	16	意見なし	4
通信環境の悪さ	16	その他(大手コンビニの誘致、箇所数の不足、電子レンジの利用システムの改善、コピー機やATMの設置 等)	85
利用経験の不足	15		

(6)問5:職場環境について(その他、本庁舎にあれば良いと思う機能や諸室等についての意見)

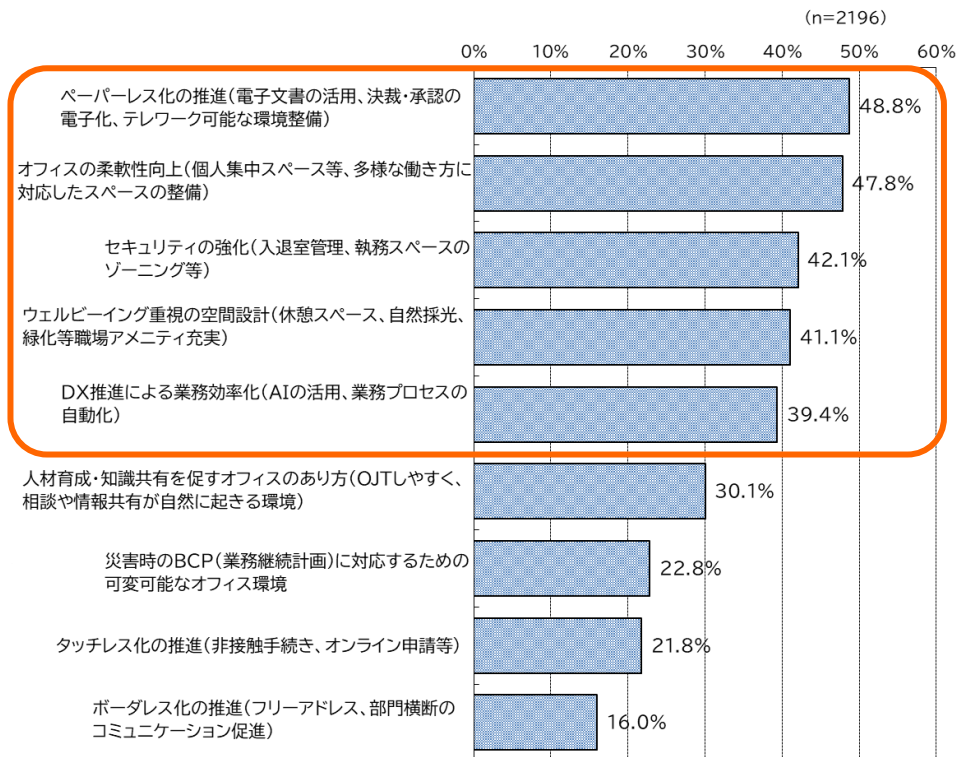
- その他、本庁舎にあれば良いと思う機能や諸室

休憩・憩いの場	職員専用休憩部屋	97	業務効率化	Wi-Fi	55	セキュリティの強化	入退館管理	31						
	屋上の有効活用			大型モニター、IT環境が充実した会議室			防犯カメラの設置							
	時間外利用可能な食事処			web会議スペース			職員専用のゾーン							
	給水スポット			更衣室			色んな人が来れる機能は1階に集約							
	コーヒーサーバーの設置			コワーキング、産学連携スペース			子育て支援		子どもが遊べるスペースと母親同士のコミュニティ支援	7				
	中庭の有効活用			外線電話の録音					託児所、保育施設					
	自販機(パンや甘いもの)			水防待機室					授乳室					
	快適な環境			喫煙スペース			75		地域との連携	会議室予約システムの見直し	52	県民との打合せスペース	合せスペース	3
				図書施設						電話ブース			証明書取得コピー機の設置	
				運動スペース						大型シュレツダー				
小公園		間仕切りのない一続きの執務空間	本庁以外と大きく差が出ないこと	その他	33									
食堂以外のランチスペース		コピー機待ち時間表示システム	職員用駐車場の設置											
棟間の移動で雨に濡れない		集中スペース	支所機能の適切な配置											
通路幅の確保		県民利用可能なカフェ	分かりやすい案内											
スタディングデスクの導入等		滋賀県ならではの品物を売る店	必要最低限でよい											
人間工学的に生産性を上げるもの		ロビー空間	エスカレーターの設定											
ソファ席		イベントスペース	災害時用トイレ、炊き出し用の施設の完備											
清潔さや快適性を追求した空間	異業種交流できるBar、居酒屋	庁内放送が聞こえない												
明るさの確保	郵便局、セブン銀行	コインロッカーの設置												
アメニティの充実	大きなデジタルサイネージ	周辺施設とつながる地下道の設置												
働きたくなる環境	旅行会社	本庁舎の移転	本庁舎以外に関すること											
シャワー室	診療所、処方箋薬局													
期限付きの寮	健康チェックのできる場所													
仮眠室	議会見学スペース													
				動画撮影スタジオ										
				コンビニや売店(時間外利用可)										
				展望スペース、ギャラリー										
				スーパー										

(7)問6:「望ましい」と考えるオフィスのあり方・業務の進め方(複数回答可)

- いずれの項目も一定程度、推進すべきと考えられていることが読み取れる。
- 特に「ペーパーレス化の推進」(48.8%)が最多で、次いで「オフィスの柔軟性向上」(47.8%)であった。
- 「セキュリティの強化」(42.1%)、「ウェルビーイング重視の空間設計」(41.1%)、「DX推進による業務効率化」(39.4%)も回答が多かった。

項目	人数(人)	割合(%)
ペーパーレス化の推進(電子文書の活用、決裁・承認の電子化、テレワーク可能な環境整備)	1071	48.8
オフィスの柔軟性向上(個人集中スペース等多様な働き方に対応したスペースの整備)	1050	47.8
セキュリティの強化(入退室管理、執務スペースのゾーニング等)	924	42.1
ウェルビーイング重視の空間設計(休憩スペース、自然採光、緑化等職場アメニティ充実)	902	41.1
DX推進による業務効率化(AIの活用、業務プロセスの自動化)	865	39.4
人材育成・知識共有を促すオフィスのあり方(OJTしやすく、相談や情報共有が自然に起きる環境)	660	30.1
災害時のBCP(業務継続計画)に対応するための可変可能なオフィス環境	501	22.8
タッチレス化の推進(非接触手続き、オンライン申請等)	478	21.8
ボーダレス化の推進(フリーアドレス、部門横断のコミュニケーション促進)	352	16.0



※その他の回答は次項

2.職員アンケート調査結果(結果の分析報告)

(7)問6:「望ましい」と考えるオフィスのあり方・業務の進め方(複数回答可)

※その他の回答一覧

職場環境 (快適性)の 改善	職場環境(光・温熱環境等)の改善	61	DX・ペーパー レス化の推進	ペーパーレス化が進んでいない	22
	什器(机・椅子等)の刷新			一定紙資料も必要、逆に不便な場合もある	
セキュリティの強化	清潔な空間	43	地方行政の魅 力向上、地域活 性化	オンライン手続等の導入	20
	様々なスタイルでの仕事ができる場所			機器やシステム、インターネット環境の改善	
業務の 効率化	適切な規模の売店・食堂	42	執務室のあり 方、フリーアド レスの導入に ついての意見	文書管理システムの改善	18
	時代に応じた変化に対応しやすく、維持管理しやすい庁舎			給与明細は手渡しのがなくなったのが残念	
職員の働き 方の柔軟性	入退館管理(休日含む)、施錠の自動化	26	様々な人への 配慮、バリアフ リー化	選ばれる庁舎の視点が重要	8
	ロッカーや机に鍵をかけられるようにする			創造・交流・成長の場となる庁舎、多機能で県民に開かれた機能を踏まえた次世代型庁舎	
	来庁者管理(対応スペースの分離、要件の確認、記名等)			脱炭素の姿勢を県として示す施設	
	情報管理の徹底が難しい環境の改善			民間活力の導入	
	県民が入れるゾーンの区分			フリーアドレスは業務の性質上そぐわず反対	
	実用的なツール(文字おこし、ミスを防ぐシステム等)導入			十分な執務室の確保が優先	
	電話対応などの自動化、コールセンターの設置			フリーアドレスにしてほしい	
	来庁者受付時間の短縮化			民間から周回遅れの空間施策ではなく最新のものを	
	開かれた開放的な空間(セキュリティは必要)			個人スペースもパーティションで仕切ってほしい	
	メール容量、データ容量の改善			縦ラインの係配置は相談や共有が行われにくい	
	AIの導入			中の様子がわかる、声かけやすい環境	
	AIには頼りすぎない方がよい			対面のコミュニケーションの減少を感じる	
	端末の画面を大きくする			モニターの導入で見通しが悪くなり会話がしづらい	14
	知識の共有の仕方の改善			幹部の部屋は必要ないのでは	
	事務作業のマニュアル化			挨拶は自分からすることを各職員が意識	
	十分な会議室の確保			完璧なバリアフリーは難しいので、好きな場所で仕事	
	現状の課題を把握した上で必要な空間を検討すべき			できる制度設計が必要	8
	在宅勤務、テレワーク活用、サテライトオフィスの導入			年齢、性別、国籍、身体的特徴等様々な背景への配慮	
	車通勤を認めてほしい			災害に強い庁舎	
	無駄と思われる業務の削減			わかりやすい案内、迷路のような構造の改善	
	必要以上の会議・協議を行わない			選択肢にある項目はすべて重要	
	部署間の連携ができておらず、職員意識の改善が必要			職場で不満に思うことを持ち上げる手段がない	
	緊急時の仮眠室			部署間移動が苦なのでビル形式にしてほしい	
	子どもを預けられる施設			昼休みに職員が歯磨きをする光景はいかがなものか	
	民間に準じた残業代の申請ルール			本庁以外の施設に関する意見	23
	宿直や当番、国スポ等の負担が大きく、手当も不十分。				

懇話会委員・県政モニター・
Webモニター・職員の
自由回答による主なご意見の一覧



自由回答による主な意見(懇話会委員・県政モニター・Webモニター・職員 の意見の対比)

滋賀県庁舎全体についてのご意見

項目	主な意見	※1	※2	Web	職員
		委員	モニター		
立地	駅が近く便利で、琵琶湖・比叡山等周辺環境や景観に恵まれた立地	●			
	県北・西部からのアクセスや災害時対応の観点から好ましくない。		●	●	●
	✓庁舎の分散化・移転を含めた県北・西部からもアクセスしやすい立地の検討が必要		●	●	●
	✓観光部局、道路部局は県北部に配置するなど、担い手・現場に近い場所への立地が必要		●		
	アクセスするための公共交通の本数が少ない。		●		
	タクシーの入場可能な車寄せがあると良い。		●		
動線・ 分かりにくさ・ 使われ方	大津駅からの案内が不十分で、経路・入口が分かりにくい。		●	●	
	✓正面玄関について、大津駅側からの見え方・動線も含めて検討すべき	●			●
	増築を重ねた結果、複雑・各棟の接続性が低い。	●	●	●	●
	新館の2階が入口の構造で、動線・案内表示が分かりにくい。	●	●	●	●
	本館の前庭、中庭をはじめ、屋外と建物が分離、一体的に利用されていない。	●	●		●
	どのエレベーターが目的の場所まで通じているのか分かりにくい。			●	●
雰囲気・印象	全体的に暗い、地味。トイレが古く、印象がよくない。	●	●	●	●
	清潔感のある庁舎、見栄えの良い庁舎が必要。			●	●
セキュリティ	誰でも入れてしまうため、機密情報の管理に課題がある。セキュリティゾーニングが必要。			●	●
ユニバーサル デザイン・ バリアフリー	エレベーター、トイレ、休憩室、案内表示、動線、段差、高齢者・障害者に配慮した空間の視点が必要	●		●	●
	ユニバーサルデザインが最低限確保されている。	●			
	ユニバーサルデザイン、バリアフリー、ジェンダーフリーへの配慮が不十分	●	●	●	●
利用者利便	若者等に行政・県政に対する興味関心の向上・参画促進に寄与する機能が必要	●	●		
	県庁の機能がよく知られていないため、行政サービスをアピールする必要がある。	●	●		
	滋賀県の良さをアピールする機能が不十分		●		●
	関係事業者や関係団体の方など、来訪者が限定的。交流促進機能があると良い。	●	●		
	市民窓口の快適性向上やICT環境整備・活用等が必要	●	●	●	●
	開かれた雰囲気の空間・憩いの空間(ロビー・自由な休憩コーナー・中庭)が少ない・魅力的でない、来訪者の居場所が限定的	●	●	●	●
	滋賀県産カフェや「映える」空間づくりなど、若者にも来てもらうための仕掛け・仕組みづくりが必要		●	●	
雨天の際に濡れる				●	
駐車場(来庁者用/職員用)が少ない、位置が分かりにくい・入りづらい・狭い等利用しにくい			●	●	

建物性能(耐震・設備)についてのご意見

項目	主な意見	※1	※2	Web	職員
		委員	モニター		
老朽化	老朽化が目立つ。耐震性、2次部材や設備等の補強・改修が必要ではないか。	●	●	●	●
省CO ₂	CO ₂ ネットゼロの実現に向け省エネ化や再エネ導入が進んでいる。(高効率空調機器や断熱化)	●			
防災	危機管理センターの機能性が高く、安心感を得る機会となった。	●			
	危機管理センター以外の使用可能性、実際のオペレーション、駐車場の確保等の検討が必要	●	●		●
	災害時に利用が想定される段階について万全でない。	●			
	本館をはじめ、建物ごとに必要な耐震性はその役割によって検討していく必要がある。	●			
	受援体制の構築・BCP性能の向上が必要	●			●
トイレ	改善が必要、特に女子トイレの安全性確保(個室上部の間仕切り等)・洋式化・生理用品の常備	●	●	●	●
地下室	地下室の環境:浸水・漏水が発生し、安全・衛生面において課題。改装・使用停止を要検討	●			

執務空間についてのご意見(※職員を除く客観的な意見に限る ※職員意見は職員アンケート問5~6参照)

項目	主な意見	※1	※2	Web
		委員	モニター	
執務環境	執務環境の質が低く現在の利用に即して改善が必要	●	●	
	✓1人当たりのスペースが狭い(大量の書類・大きな決裁箱等による圧迫感、ロッカーの不足)	●	●	
	✓隙間に配置された打合せスペース ✓換気・照度の確保等が不十分	●		
	✓来訪者が立ち入ることができ、セキュリティ面で課題あり	●	●	
	関連部署の部屋の配置(機能的・組織的)。もう少し関係が密になるよう改善すべき。 在宅勤務が増えてきている中で、将来的な執務空間のあり方を考えていく必要がある。	●	●	
雰囲気	執務空間が閉鎖的な印象	●		●
生産性向上	多様なワークスペース(懇談、集中、仕切られた打合せブース、リフレッシュ空間等)がない。	●	●	
	DX化・ペーパーレス化が必要(人手不足への備え) 職員のモチベーション向上につながる空間づくりが必要。	●	●	
福利厚生	職員等が休憩できる空間に乏しい。	●		
	✓地下階、屋上、中庭等使える場所に改善すべき。(安全に使える環境整備が必要) ✓食堂が狭い。(昼休みの時間帯が一斉)、県民サロン、コンビニ等も改修が必要	●		
設備面	執務室の床にコードが走るなど、OA化などに対応できておらず安全面にも課題	●	●	

本館の保存活用に関するご意見

項目	主な意見	※1 ※2			
		委員	モニター	Web	職員
価値評価	当初設計の部分と改築・改造部分が混在、歴史的建造物としての価値評価が難しい箇所も多い。	●			
	費用がかさむならば古い建物を残す必要性があるかの議論が必要		●	●	●
県政機能	県政機能での利用が望ましい	●			●
	県政機能は本館から移転し、他の場所で確保すべき/執務空間としての利用は慎重に検討すべき	●			●
一般開放・収益化	登録部分(玄関・議場等)は現存で記念館として県民、国民や旅行者に開放してほしい。	●	●	●	
	文化財の特性を活かした施設運営で収益化等の事業価値創出の可能性はある。	●	●	●	●
	窓からの景色は、琵琶湖一望ではないため観光面での商品価値があるかは微妙。	●			
認知向上	歴史や変遷が面白く、文化財としての周知・活用が必要(説明プレート、見学ツアー等)	●	●		●
継承・アーカイブ	建設当初の部屋内の構造物等は撤去前に、画像等で保存できるとよい。	●			
	歴史的建物・構造物が一部保存され、時代背景・価値観が後世に継承されることには価値あり。	●	●		●
その他	レガシーとしての本館の保存活用について、中長期を見据えた維持管理コストを含めた予算計画が必要		●	●	●
	本館を活かしつつモダンなデザインを取り入れるには、有名デザイナーの力が必要	●			

その他ご意見

項目	主な意見	※1 ※2			
		委員	モニター	Web	職員
建替手法	既存の3棟は廃止し、執務空間を本館と上手く接合させて新築するのが望ましい。	●			
	琵琶湖と一体となった面的な開発を行うなど、総合的な検討が必要		●		
	大津市庁舎と併せた合理化が望ましい。		●		
子育て世代への配慮	授乳室が活用しにくい場所にある。職員利用は想定しにくいため、危機管理センターに、災害時利用のデモンストラーションとしても活用できるように設置してほしい。	●			
	子育て世代が訪れやすい空間があるとよい。	●		●	
まちづくり	周辺が食事できる場所等に乏しい。大津市とも連携の上、周辺商業施設の充実・駅前の開発が進むとよい。	●			●
	駅から県庁への道が傾斜等で歩きにくい。歩きたくなるまちづくりが重要。	●			●
	民間活力の導入(店舗・オフィス・ホテル等)が望ましい。	●			●
	県庁舎周辺は人がやってきて買い物するような場所ではない。会合や集会場所が不足している。	●			